釣りキチ三平

第8集

謎の魚釣り編II

矢口高雄

KCSP
164

釣りキチ三平

第8集

謎の魚釣り編II

矢口高雄

講談社

雑誌 45423-64

ISBN4-06-101164-2

C9979 ¥621E (3)

講談社

定価652円
本体621円

母校にて，後輩たちに講演する矢口先生。

古沼や、渓流の奥の滝つぼや渕、あるいは深い湖底には、いわゆる〝主〟が存在する例が少なくない。永い歳月のなかで、さまざまな事象を体験し、多くの動物や人間とかかわって生きつづけてきた〝主〟である。さまざまな体験やかかわりは、それ自体がドラマチックである。

（「あとがき」より）

（カバーデザイン
日本ヘリエールアートセンター）

KCSP
164

釣りキチ三平

第8集

謎の魚釣り編II

矢口高雄

講談社

第8集
謎の魚釣り編II
矢口高雄

釣りキチ三平

第8集　謎の魚釣り編Ⅱ

矢口高雄

釣りキチ三平〈第8集〉謎の魚釣り編II

もくじ

OO池の滝太郎の巻（後編）……6
竜神滝の竜の巻……113
摺り鉢池のカミソリウオの巻……228
あとがき……332

釣りキチ三平

第8集

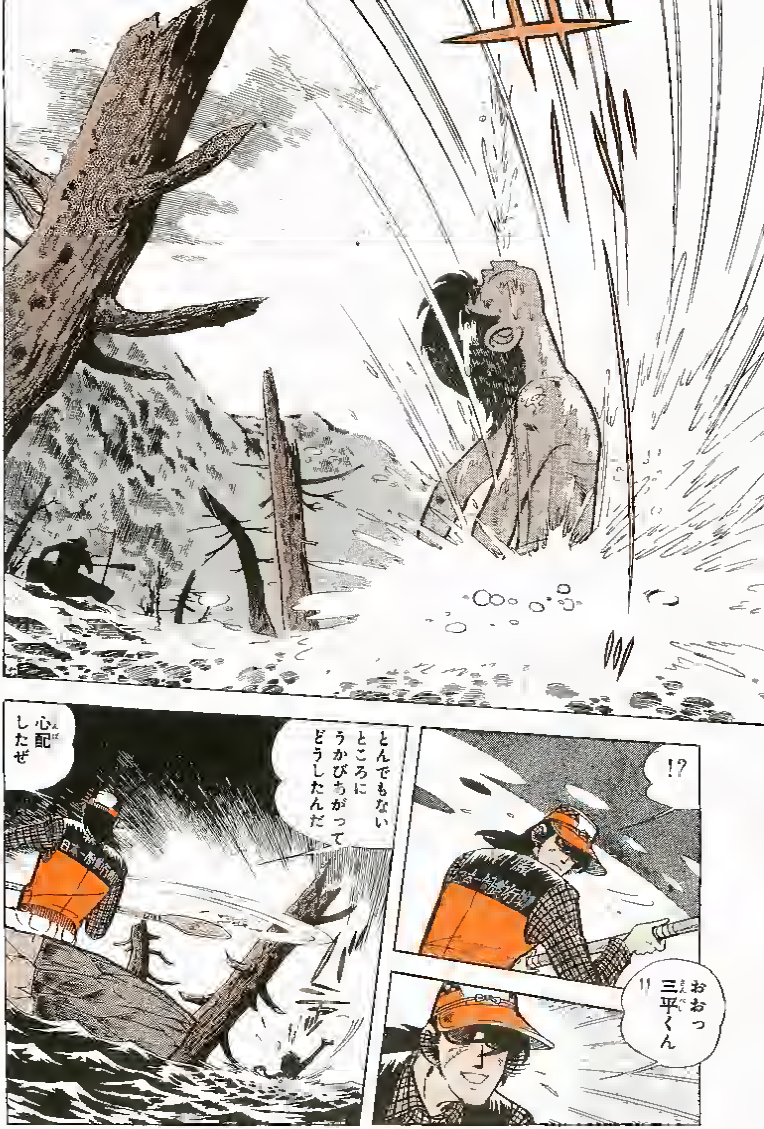
謎の魚釣り編Ⅱ

矢口高雄

ギャ魚甲ァ！
えそんなっ
海大臣が
ヒ、海大臣がやられた！
海大臣の敵ィ！
ヤ、ヤバいぞ
逃げろ！

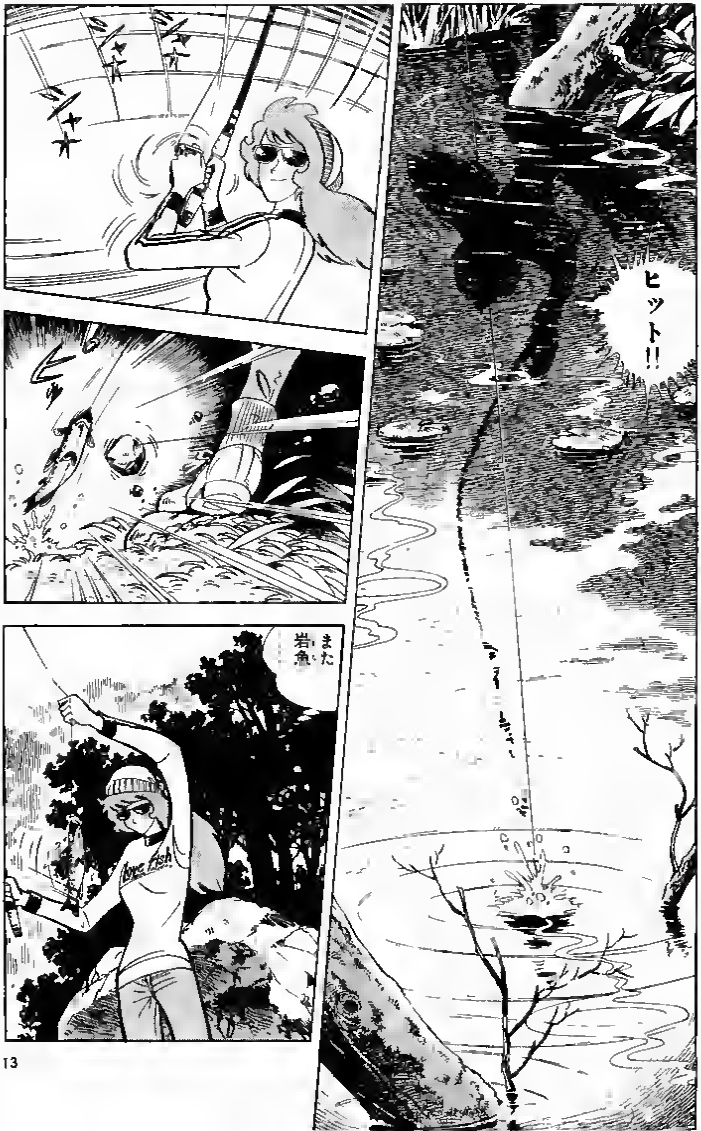
O池の滝太郎の巻（後編）

ウグッ
ざ 残念だが
もう 限界
だ～～～っ
ユラ～


!?
おおっ 三平くん!!
とんでもないところにうかびちがってどうしたんだ
心配したぜ

ぎょ
魚紳さ――ん
そ
それよか
てえへん
なんだ～～～っ
ドルルル
とにかく
くわしい
ことは・・・
またあとで
ブクブク
ンッ!?
こ これは
なにか
あるな!?

いったい
なにが
おこったんだ
このわれめの
なかで……
ま まさか
あの大ものに
めぐり
あったんじゃ
あるまいな


ヒット!!
また岩魚
Iwa-fish

ハイ
Lure Fish
釣っても
釣っても
岩魚ばかり
いったい
どこが
亀太郎の
ポイント
なの……
おじょうさん!!
さっきから
おめえさんの
釣りかたを
ずーっと
見さして
もらったが
なかなか
どうして
わけえに
にあわず
てえした
もんじゃ

じゃが…
釣った魚をすぐ放流するとこを見ると…
どうやらおじょうさんのねらいは滝太郎らしいな…
あのう…
たしかあなたは三平くんのおじいちゃんでしたね
Love Fish
ホホウ知ってるのけえ
ええ
三平くんはいまどこに…
ハハ――ンおねえちゃんおめえだな三ちゃんと滝太郎の釣り競争をしてるというおねえちゃんは
ホレッ三ちゃんならあすこさいるだ

ああっ
あ あれは
!!

三平丸

さ
三平丸
・・・

へーんてこな
名まえで
ねえか
三平丸だ
なんて
こーんただ
ぶっとい
丸太をつかって
つくったんだとよオ
三ちゃんって
いつも あんな
とてつもねえ
ことをやらかす
やつだから
おねえちゃんも
うかうかして
られねえぞ

フフフ
釣り勝負
なんて
くだらねえよ
おじょうさん
・・・
それよか
魚をもっと
たいせつに
あつかうよう
心がけた
ほうが
ええだ
Fish

魚族保護のため
釣った魚を
放流することは
釣り人として
まことに
けっこうじゃが
釣った魚を
ただ水に
投げすてるだけで
放流がすんだと
思ったら
大まちがいだべ

ええっ

ううっ!!
あたしは
三平くんを
子どもだと
思って
あなどって
いたんだわ
・・・
こんな
すばらしいマナーの
おじいちゃんに
指導をうけてきた
三平くんは
ただの釣りキチ少年
では なかったのね
・・・
LoveFish

ようく 手を
水にひたして
ぬくみを
とってから
魚をつかみ
元気に
およげるかどうか
たしかめてこそ
ほんとうの放流と
いえるんで
ねえかな・・・

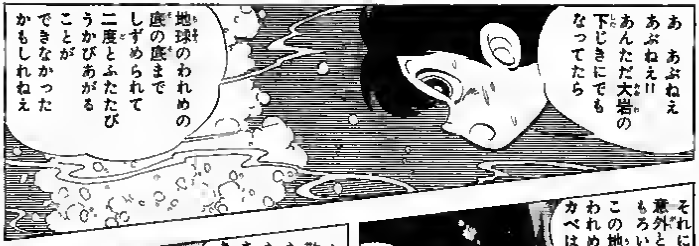
よけいな
ことを
いっちまった
かもしれんが
・・・
魚はハリで
きずついて
いるんだ

!?
ありゃっ

さっきまでこのあたりさいたでねえか!?
ど　どこさ消えちまっただ
いないっ!!
あいつがき消えてるっ!!
クソオ残念無念!!

おらにこのれんじゅうのように水中で息することができたら
もっともっとちかくさよってあいつの姿をはっきり見ることができたのに
あわっ
クゥ〜〜ッ
残念
無念
スト〜ン
うぅっ!?

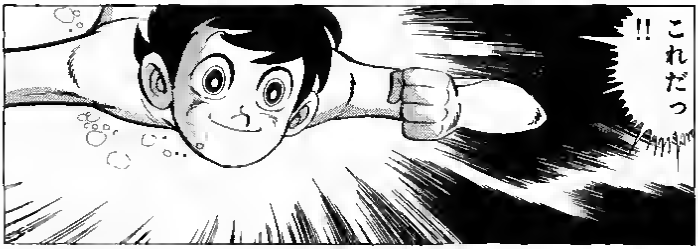
うわ〜〜っ
ああ……


あ あぶねえ
あぶねえ!!
あんただ大岩の
下じきにでも
なってたら
地球のわれめの
底の底まで
しずめられて
二度とふたたび
うかびあがる
ことが
できなかった
かもしれねえ

それにしても
意外と
もろいなあ……
この地球の
われめの
カベは……
これじゃあ
やっぱし
もぐるのは
危険だ

いまのさわぎで
散っていた岩魚が
またアブクの
まわりを
あつまって
きてる……

ン!?


これだっ
!!

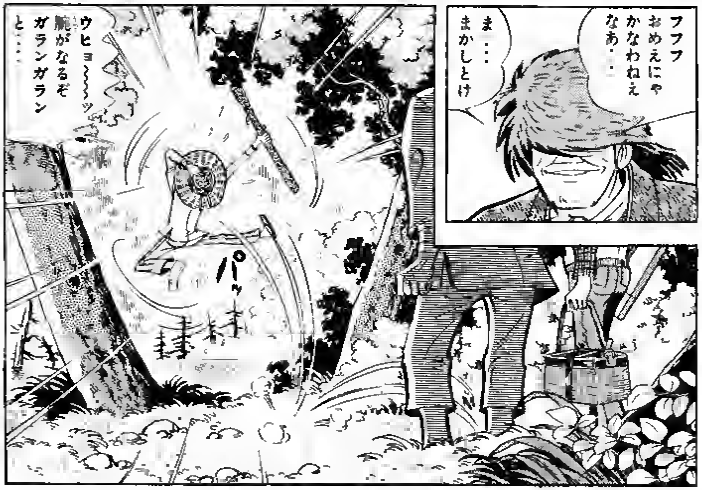
ここが
滝太郎の
ポイント
だっ!!
いったん
見うしなったが
あいつは
かならず
ここさ
もどって
くるだっ!!

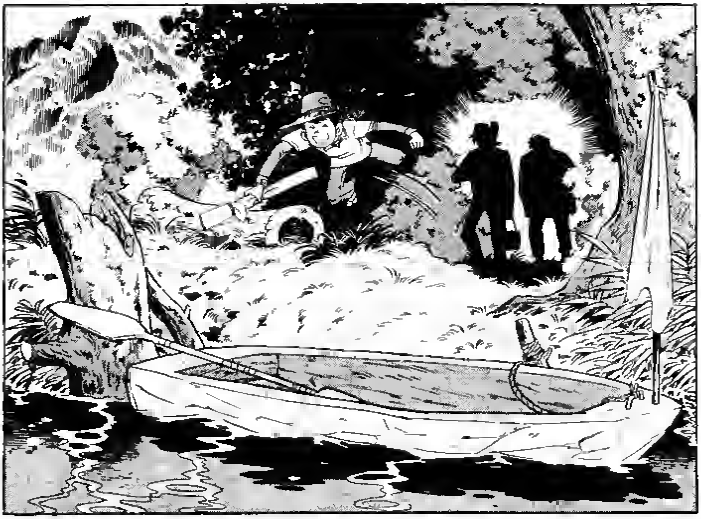
この日の
O池一帯の夜明けは
どんよりとした
天候だった

とにかく魚紳さん!!
おらあ竜太郎のポイントは地球のわれめのあの温泉のわくポイントとにらんだだ
んだからあのポイントさじっくりと腰をすえて
あいつがかかるまで徹底的にねばってみるだ
もちろん地形的にかんがえてもそれが正解だ!!
竜太郎は地球のわれめより生まれいする魚…というういいつたえは
おそらく温泉がわきだす…という意味に解したほうがいいだろう…

…なるほど地球のわれめから生まれてくるのは温泉だったとは…
むかしの人のいいつたえにはどこかほんとのことがかくされてるもんだなあ
おじさんヘンなこと感心してるばあいでねえべ!!

滝太郎はきょうこそかならず
角神さんかおらの竿にくるだっ!!
鑑定のほうはバッチリたのむぜ!!


フフフおめえにゃかなわねえなあ…
ま…まかしとけ
ウヒョ〜〜ッ腕がなるぞガランガランと…
パ〜ン



おじさん
どうぞ
どうぞ

いいのけぇ
魚紳さん
ええ
はじめ
あなたを
あの
ポイントまで
案内したあと
もういちど
ひきかえして
三平くんと出発
しようと思う

すまねえなあ
なんだか
胸のあたりが
ドキドキして
きただ
まさか
おめえたちに
釣りの相手まで
させられるとは
思ってなかった
からな
ハハハ

ウ～～～ン
どうしましたなにかぐあいでもわるいんですか
ぺつにそうじゃねえが……
……ただどうも山のようすがフにおちねえんじゃ
山のようすがおかしいって……？

うん……
なんか……
こう きっきから
キーンと
耳鳴りみてえな
もんがして……
気圧のせいじゃ
ないですか
そうだと
いいが
なんか
おかしな
ぐええの空だ……
雨がふるわけでも
ねえし……

おじさん
!!
それは
きっと
竜太郎が
釣れる
まえぶれに
ちげえねえ
!!
ハハハハ
三平くんに
かかっちゃあ
かなわねえな
ほんじゃあ
魚紳さん
案内して
もらうか

よ――し
きょうこそは
幻の魚
竜大郎を
……
釣りあげて
みせるぞ
かならず
フフフ
やつは
きっと
あのポイントに
やってくる
はずだ

ありゃっ 白川の ねえちゃん
ン!?
三平くん!!
滝太郎の 釣り勝負は どうやら あたしの負け のようね
どうしただ いきなり
おらあ まだ 釣ったわけじゃ ねえちゅうに
いいえ 対象魚を 釣ったとか 釣らないとか の問題じゃ なくって
三平くんの 釣りにたいする ファイトに カブトをぬいだ のよ…
あたしは たしかに 本場ヨーロッパじこみの キャスティングの技で 昨年度 全日本 キャスティング チャンピオンに なったが
そのとき 魚紳さんに いわれたことばを 否定しつづけてきた

ようするに釣りは実戦だ
見せものまがいの曲芸ができるからといっていい気になるんじゃねえぜ
ンマア
千変万化する自然を相手としたほんものの釣りは
そんなあまいもんじゃねえ!!
ほんものの釣り
そう!! この○池にきてそのほんものの釣りというのを三平くんからおそわったの
丸木船をつくったとかなんとかじゃあなくって
千変万化する自然にたいする深い考察力と大胆な行動力が渾然一体となった
ほんものの釣りにあたしは負けたのよ
おねえちゃんそんただこむずかしいことばをならべられたって
おらあチンプンカンプン!!

とにかくがんばって!!
あたしもかげながら応援するわ
カーッなんだかテレくせえなや

これはあたしがヨーロッパからもってきたスプーンなの
これでぜひ滝太郎にアタノクしてみて!!
おらにこれをくれるのけえ!!

フフフ
まったく
三平くんちゅう
子は なにを
かんがえだすか
わからんやつ
じゃて……

わしに
こんただ
カッコ
させおって
庵太郎を
ぶちあげるから
目ン玉ひんむいて
鑑定しろ……だ
なんて フフフ
それにしても
これが地球の
われめとは……
なんちゅう
すげえ亀裂
じゃ
これなら
まちげえなく
庵太郎の
かくれ家に
ちげえねえ
おっ
釣りキチ
どもめ
きおった
なり

ウヒ〜〜〜ッ
おじさ——ん
おまたへ
!!
フフフ……
……

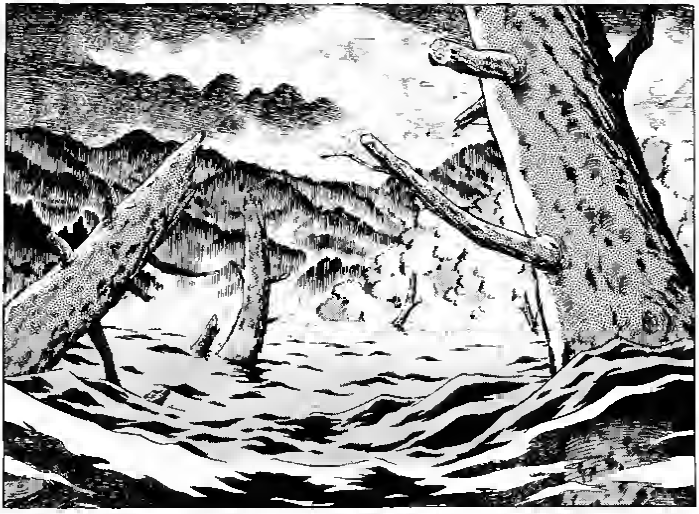
滝太郎は
そのむかしより
O池にすむ
珍魚かり
……
身の丈(体長)
およそ三尺三寸
(一メートル)にして
体側に斑点
あり……
冷水をこのみ
直射日光を
きらうゆえ
水底深くにすみ
ときおり
水面に出ては
餌をあさる

食性は
貪欲なれど
警戒心が
すこぶる強く
敏捷にして
人目につくこと
まれなり

秋には
沢へのぼりて產卵し
その一生をおわるも
死骸が発見されたる
たのしなし
その身は
白身にして
美味なること
このうえもなし

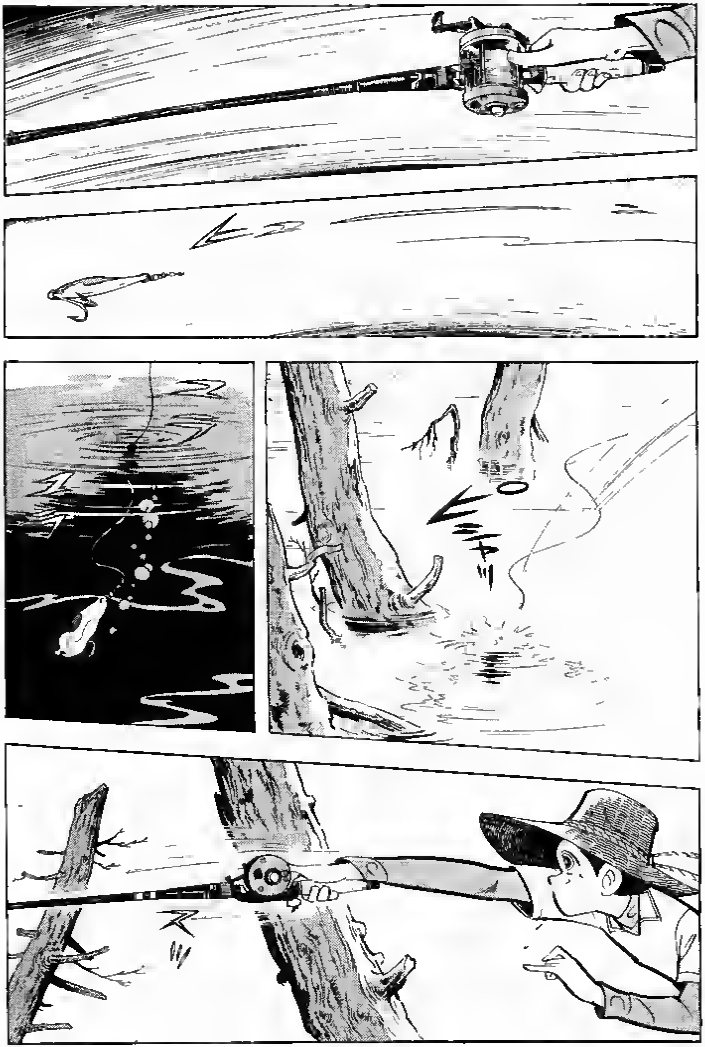
三平くん!!

ほんじゃあいくべ!!



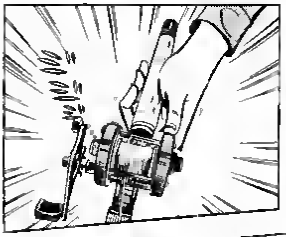
かつて
幾百人
これに
いどみても
……

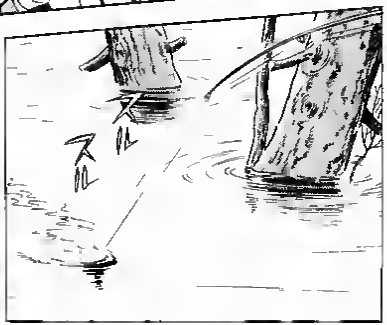
釣られたろ
ためしなし
!!



オーケー!!
地球のわれめの底までとどくぐれえだったっけな

三平くん!!
昨夜 うちあわせしたとおり
スプーンを思いっきりしすめるんだ!!
ミュル
ミュル

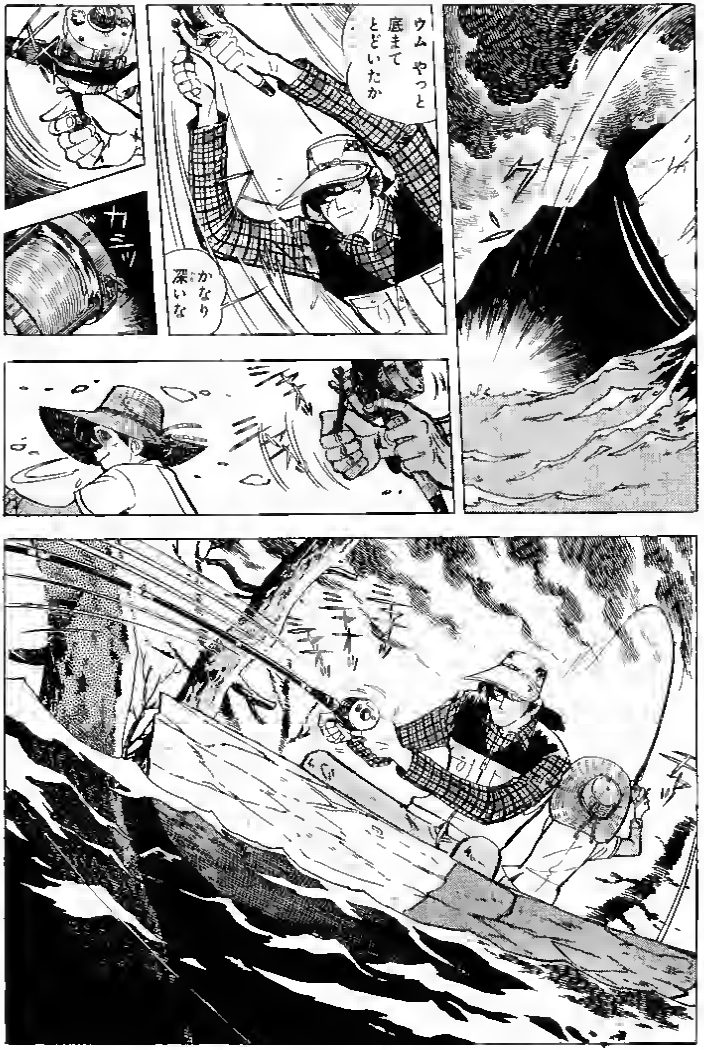



スル
スル

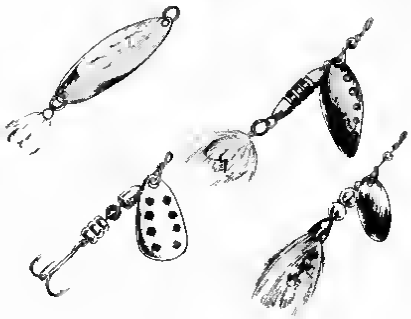
それにしてもあのふたりまったくよく呼吸があってるなあ…
じつの兄弟でもああはいくめえ

フフフ
時代もかわればかわるもんじゃて
あんただサジみてえなもんで魚が釣れるってんだから…

ユラユラ


ウム やっと
底まで
とどいたか
カニッ
かなり
深いな
ク

ゴゴゴ
ゴゴゴ
ゴゴゴ



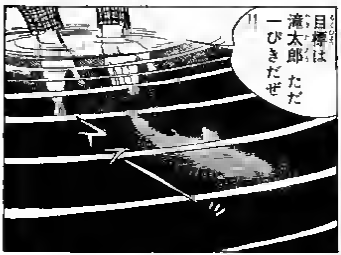
ヒット
!!
ムッ
きたなっ
!!
さすが
魚紳さん
!!
ぎょ
魚紳さん!!
ま まさか
滝太郎じゃ
ねえべなっ
!!
フフフ
…だったら
いいが
このひきぐあいは
岩魚だろう

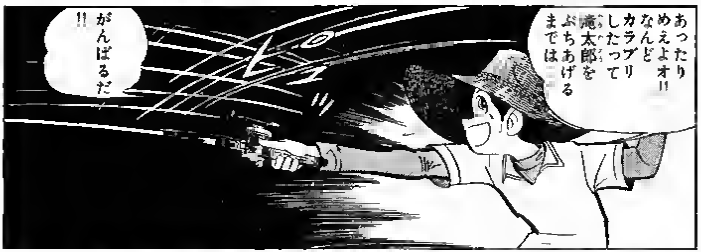
兼神さ――ん
いってえなにが
釣れたんだ
ハハハハ
三十センチ級の
岩魚だ
おれのことを
心配するよりも
自分のロッドから
目をはなすな
ク〜〜〜ッ
ミチミチ

フフフ
三平くんの
第一投は
からぶり
だったな
それにしても
きょうは
なんちゅう
日だ
あったけえでも
ねえし…
寒いでもねえ
ボーッと
してて
空が
おもてえ
…
山の
ようすも
ふだんとは
ちがう…
それに
さっきから
ずーっと
してる
この耳鳴り
きょうの
わしは
からだの
調子が
おかしいのか
…
それとも
…

なにを
いってるんだ
三平くん
!!

カ――ッ
腕と
キャリアの
差だなや
魚紳さんは
一発めで
釣りあげるし
おらはバー


目標は
滝太郎 ただ
一ぴきだぜ
!!


あったり
めえよオ
!!
なんど
カラブリ
したって
滝太郎を
ぶちあげる
までは
がんばるだ
!!

三平くん
!!

リーリング
(リールをまいて
ルアーをひくこと)
のとき 一本調子に
ならないように
気をつけるんだ

ウォッビング――ユラユラとジグザグ運動をすること
ほとんどのスプーンはリーリングするとウォッビングするようにできている
だが一本鋼子でひいてたんでは魚に正体を見やぶられたりすることがある

いろいろとくふうをこらして魚にさとられないようにさそってみるんだ

もしかしたらあいつらほんとに滝太郎を釣ってしまうんじゃねえだろうか……

リーリングのスピードをかえたり
ロッドアクション（釣り竿をうごかす）によって変化をつけたり
リールをまく手をとめてルアーをしずめてみたり……

キュルキュル
魚紳さんこんだあんべえか
ウムその調子だいいぞっ!!
そうけえ!!
なんだか魚神さんといっしょに釣りしてるとつい安心してしまうなや

ウヒョ〰〰ッ
きたな
三平くん

オホッ!!
ケーッヘヘヘやーっとこさきただ!!
クッ
ホホウそのひきぐあいならばかなりのものだな
なあにふつうの岩魚だべ
ニャオッ
ニャオッ

ヘヘヘッ
!?
どうしたんだ三平くん
!!
ひきがつよくってリールがまけないのか?
いやあそんただこたあねえ…
…ただこのままおよがせておいたほうがおもしれえと思ってな…
!?
およがせておいたほうがおもしれえ…だって!?
三平~くん

きみは
あ あのときの
ように…
かかった
岩魚で
滝太郎を
釣るつもり
だなっ!!
へへへッ
ウ〜〜〜ン
おもしろい
その手が
あったのか
!!
三平丸

ウヒョ〜〜〜ッ

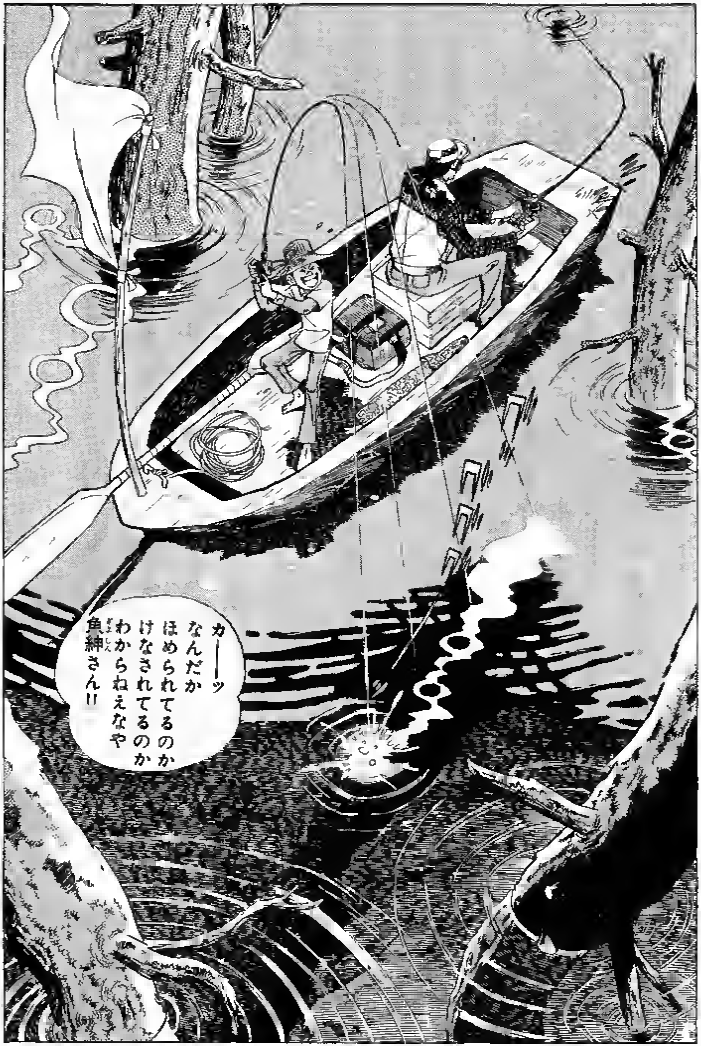
とっ！
とっ!!
三平丸
とと っ
!!
なるほど
三平くんが
あの大ものに
ひきこまれ
たとき
……
うわ〜〜っ

ルアーにかかった岩魚に竜太郎が食いつく

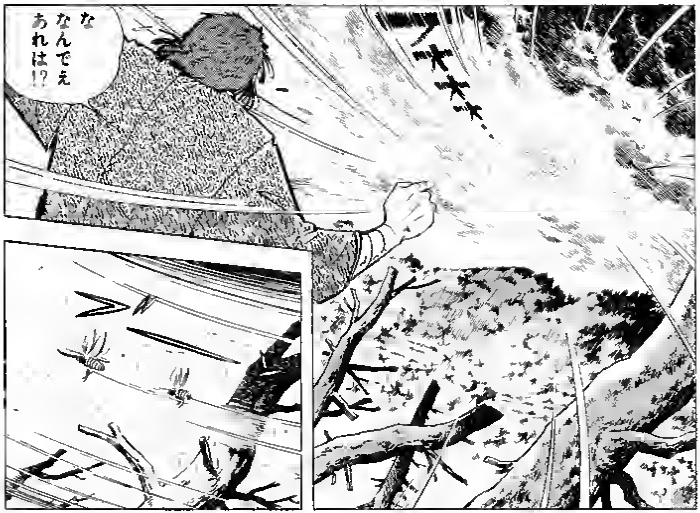
フフフおもしろいじゅうぶんありうることだ

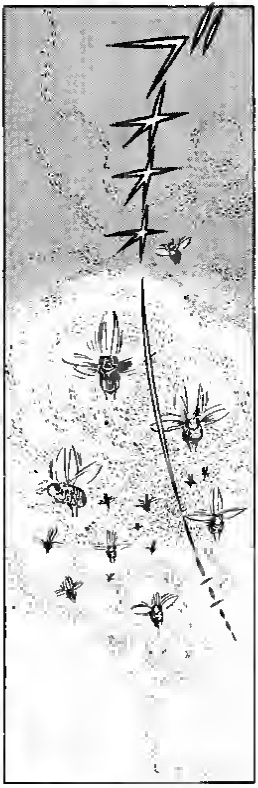
三平くん!!
きみのアイディアをおれもいただくぜ!!
えぇっ!!
フフフそこまではおれも気がつかなかった…
カーッ 魚紳さんもやるのけえ
三平丸
そんだばゆだんできねえなや
ひょっとしたら滝大郎をよこどりされてしまうかもしれねえなや

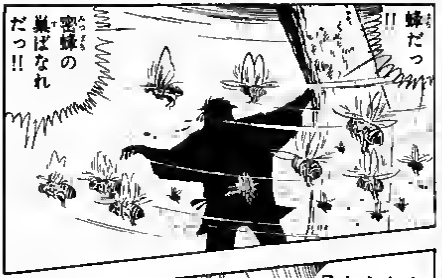
おいおい 三平くん よこどりだ なんて ひとぎきが わるいなあ
ジジ…
それに…
こんな おもしろい 釣りかたを かんがえついたくせに いままで 秘密に しておくなんて ずるいぞ フフフ
カ——ッ
おらあ べつに 秘密にしてた わけじゃ ねえだ
このまえ このわれめで 例の大ものに かかった岩魚を 食いちぎられた とき…
これだっ!! この手だ!! …と 思っただ
だが… かんがえてみると この釣りかたは 陸からだと 地形上まず むりなんだなあ
ウーム そこから 丸木船をつくる ところに かんがえが 発展して いったわけだ
三平丸
フフフ 三平くん!!
チャッ
きみは どうやら ころんでも ただではおきない 性分らしいな

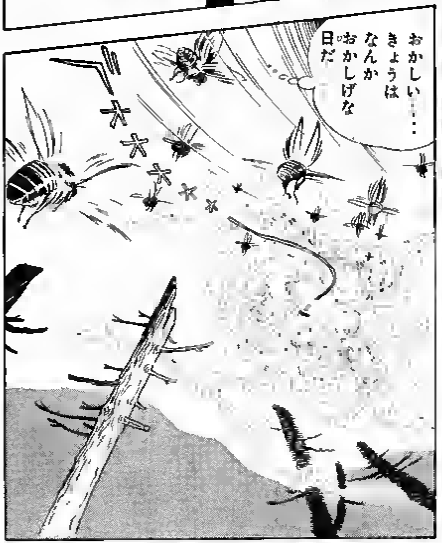

カ――ッ
なんだか
ほめられてるのか
けなされてるのか
わからねえなや
魚紳さん!!

バカなこというな
きみの その
横転のきいた
発想にホトホト
感心してるんだぜ
まーた またうめえこと
いって おらを
おだてる……
フフフ
まったく
仲のいい
ヤツらだ
どう
みたって
兄弟としか
思えねえて
……
ムッ!?

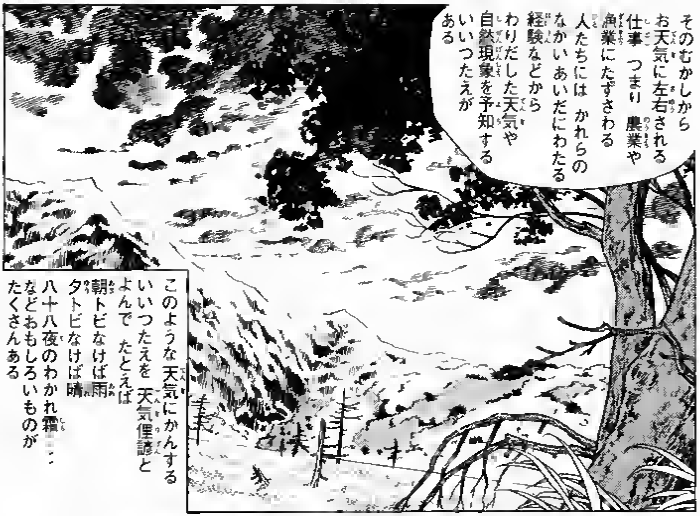

な
なんでえ
あれは!?

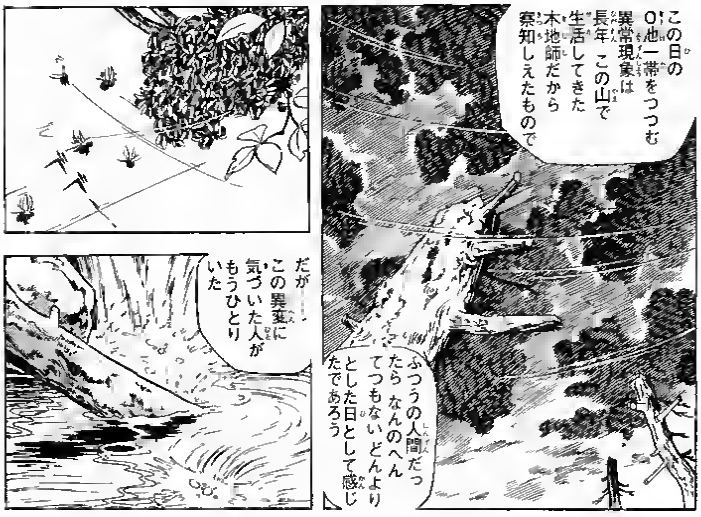



蜂だっ!!
密蜂の巣ばなれだっ!!


おかしい……
きょうはなんかおかしげな日だ

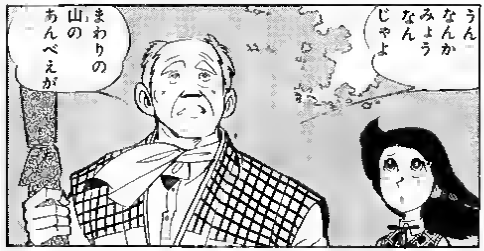
木地師のせがれとしてこの山に生まれそだって もはや五十余年
天候や季節のうつりかわりなんぞ気象台よりも正確に予知できるわしが……こんただおかしげな日は はじめてだ……
みょうなことがおこらねばよいが……

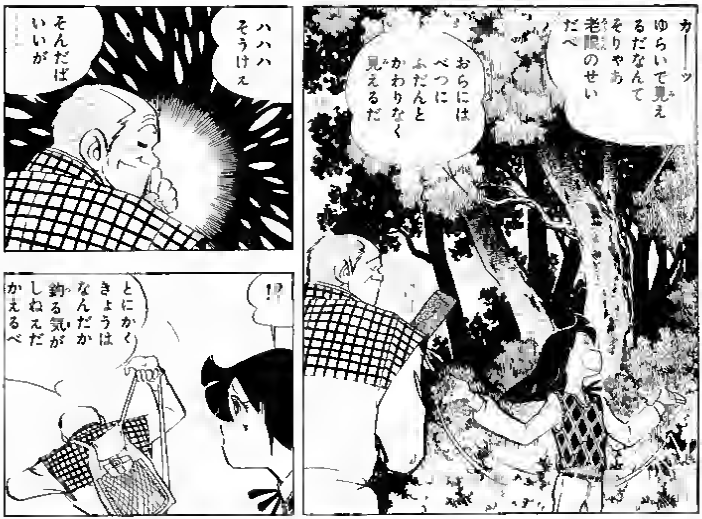

そのむかしから
お天気に左右される
仕事 つまり 農業や
漁業にたずさわる
人たちには かれらの
なかいあいだにわたる
経験などから
わりだした天気や
自然現象を予知する
いいつたえが
ある
このような天気にかんする
いいつたえを 天気俚諺と
よんで たとえば
朝トビなけば雨
夕トビなけば晴
八十八夜のわかれ霜
などおもしろいものが
たくさんある

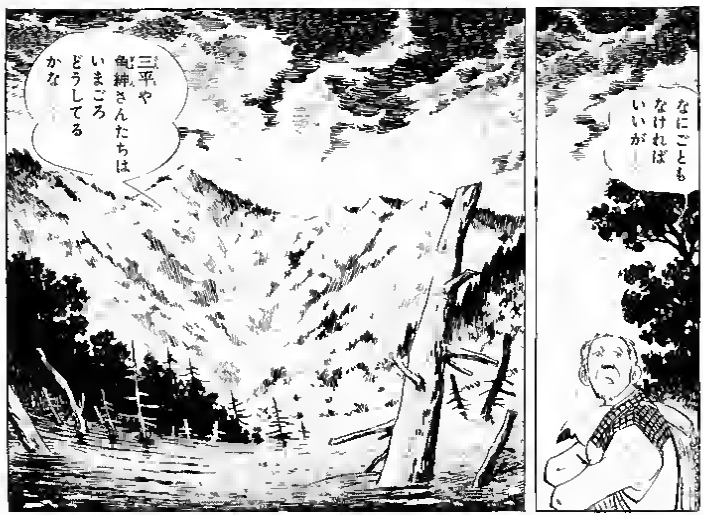

この日の
O他一帯をつつむ
異常現象は
長年 この山で
生活してきた
木地師だから
察知しえたもので
ふつうの人間だったらなんのへんてつもないどんよりとした日として感じたであろう
だが この異変に気づいた人がもうひとりいた

どうしただ
一平じいちゃん
もう釣りは
やめたのけえ
？

まるで
かげろうでも
たってる
みてえに
ゆらいで
見えるだ


まわりの
山の
あんべえが
うん
なんか
みょう
なん
じゃよ

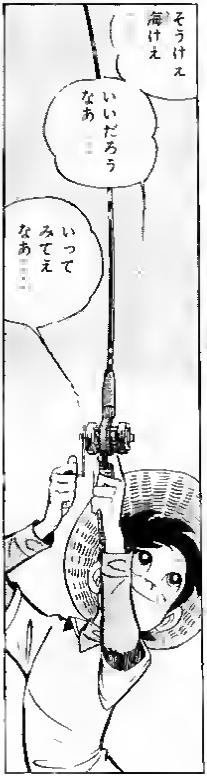

カ――ッ
ゆらいで見えるだなんてそりゃあ老眼のせいだべ
おらにはべつにふだんとかわりなく見えるだ
ハハハそうけぇ
そんだばいいが……
!?
とにかくきょうはなんだか釣る気がしねえだかえるべ


なにごともなければいいが……
三平や亀紳さんたちはいまごろどうしてるかな

ヒット!!
ウワ
ンッ!!
きたなっ
魚紳さん
フフフ
ここまでは
いいが
はたして
このあと
うまいこと
滝太郎が
食らいついて
くれるかな
われめのなかには
すいぶんと倒木が
しずんでるから
ひっかけないように
魚をおよがせないと
いけないな

しかし……
こうして
きみと釣りを
してると
つくづく
思うんだ
海を
やらして
みたいって
な……
海!?

そうさ
海さ!!
海は
なんてったって
ひろい……
日本のまわりは
みんな海だ
からな……


そうけえ
海けえ
いいだろう
なあ……
いって
みてえ
なあ……

それに
海釣りは
豪快そのもの
だ!!
魚の種類も
おおいし
おおきさたって
淡水とは
ケタがちがう

んだべな
や……
おらあ
山そだちだから
海なんてまだ
一度も見たこと
ねえだ……

ヒョー
うわぁぁっ
!?

おいっ 三平くん どうしたんだっ!?
ムッ!?
かかったのかな!?
ウッ ウッ
ウヒョ～～～ッ
きたっ!! きたっ!!
きたぞ――っ 真紳さ――ん
ほ ほんとうかっ!!
おおっ すげえ
ン～～～ッ!!

よーし
ライン(糸)を
うーんと
くれてやれ
とことん
ねばるんだ
ぞ――っ
!!

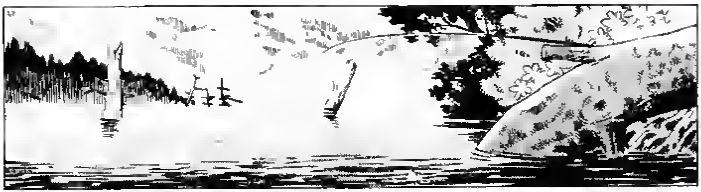
ン!?

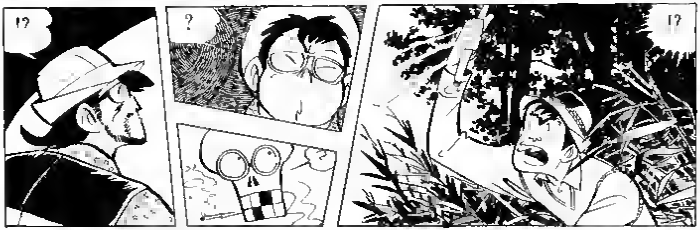
おおっ!!
やったなっ!!

ゴゴゴゴゴゴゴゴ
な なんでえ あの音は!?
ま まるで 山が ないてる みてえだ!?

九平三

ゴゴゴゴ




!?
?
!?

コーコー

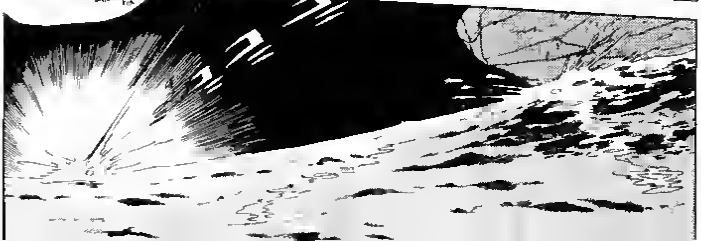
一平
じいちゃん
あ あの
音は!?
ウム!!

?

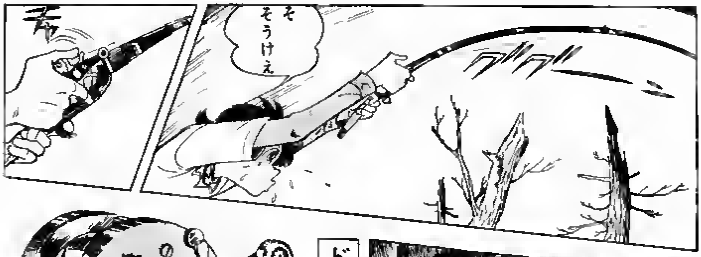
じ
地なり
だっ!!
や 山がないてる……!?

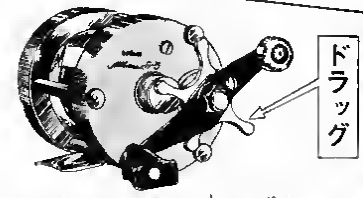
O池一帯をおそった
異様な地なり!!
ゴゴゴゴゴゴゴ

だが!!
三平と魚紳の
耳には この
あやしげな
音など はいろう
はずも
なかった
クﾍﾍﾍｯ
三平のロノド(笔)は
いままさに 滝太郎
とゐぼしきものに
満月のごとく
たわめられて
いたからだ!!

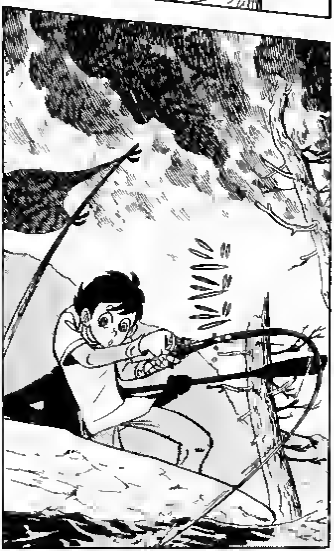


おおっ!!
ウオ――ッ
三ノ丸
魚紳さん
こ こんどは
反対方向さ
むかった
ぞ
よっしゃあ
左旋回だ
なっ!!
丸木船の
操作は
おれにまか
せろ!!
それよりも
ドラッグを
もうすこし
ゆるめろ
でないと
ライン(糸)が
きられて
しまうぜ!!

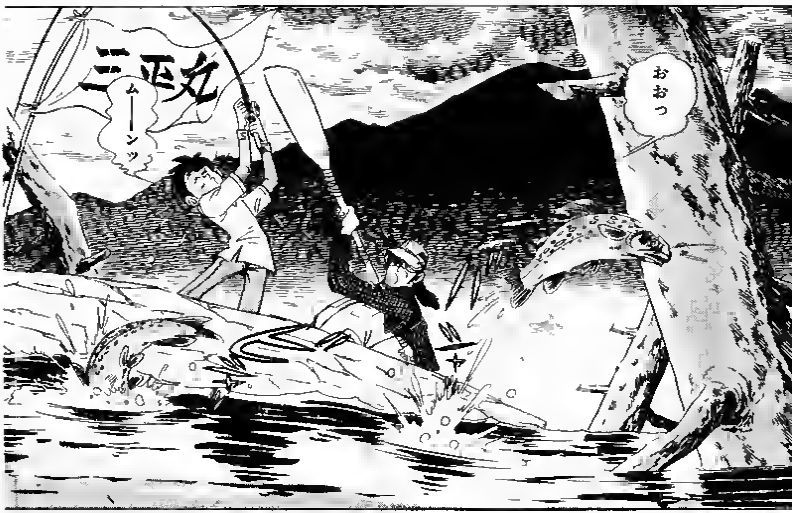




ふつう リールのリーリング(巻きとり)中には
スプール(糸を巻いている中軸)は逆転せず ライン(糸)
がでないようになっている しかし それでは魚の
ひく力がつよい場合 ラインがきれることになる
ので その防止のため この装置をゆるめると 巻き
とり中にもかかわらず ラインがでていく つまり
トラッグは ラインの出加減を調節する装置である



おじさーん
かかったぜーっ
ようく
目ン玉あけて
見ててくれよ
なーっ
三平丸
ウウッ
あいつら
まだ 地なりに
気づいて
いねえな!!
ヒョッ!!

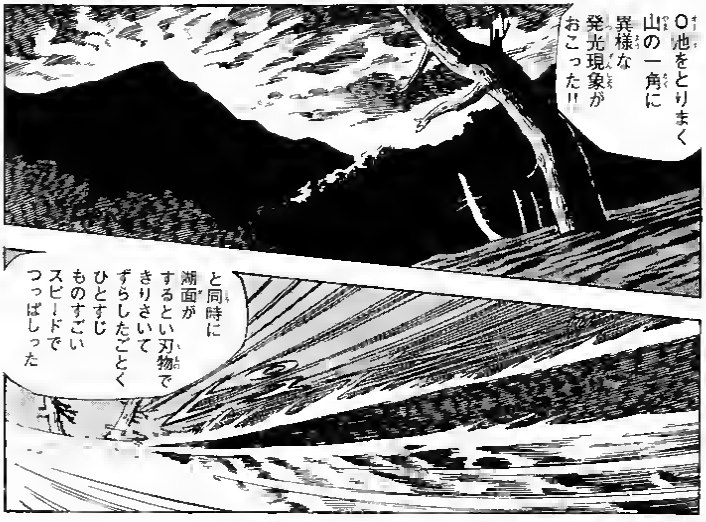

三平丸
ムーーンッ
おおっ

ホラホラよそ見するんじゃねえっ!!
どうでえすこしはよわる気配がないかっ!!
ガハ――ッとんでもねえ!!
ごごらんのとおりさ
ムッ!!
どうしたんだあの岩魚は!?

水中の
岩魚という岩魚が
いっせいに湖面に
とびかう奇妙な
現象の直後

異変は
おこった!!
ああっ
あ あれ
はっ!!

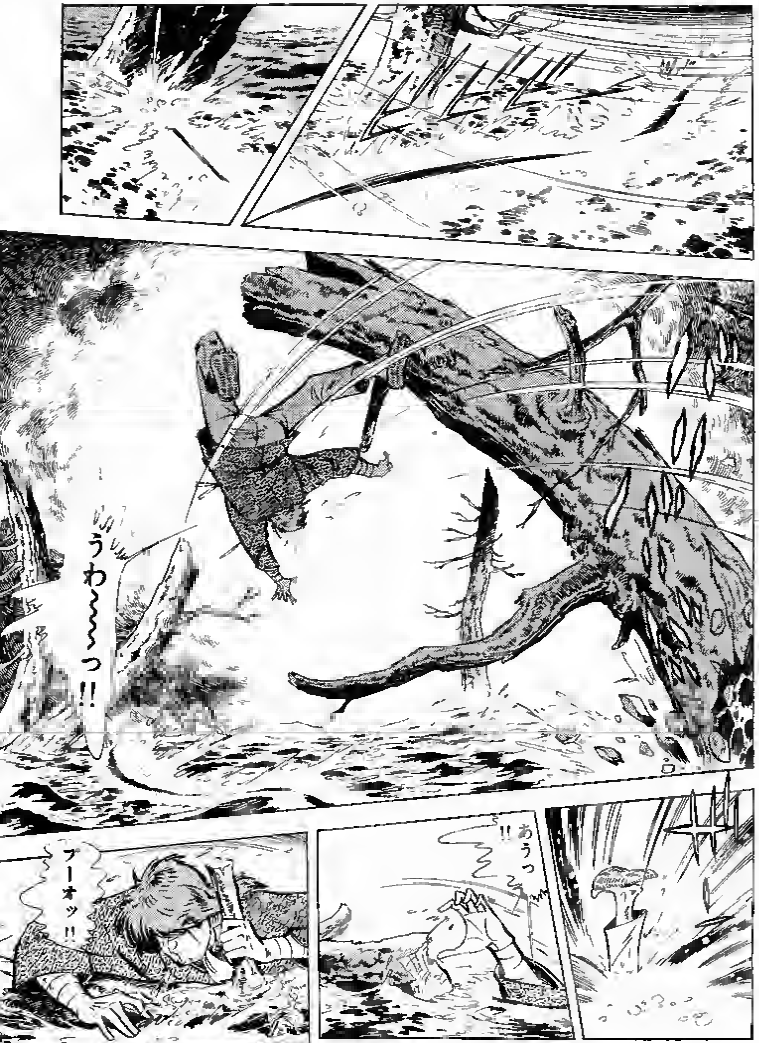
や 山が
もえて
るうっ!!


O池をとりまく
山の一角に
異様な
発光現象が
おこった!!
と同時に
湖面が
するとい刃物で
きりさいて
ずらしたごとく
ひとすじ
ものすごい
スピードで
つっぱしった

うわ〜〜〜っ
ドドド

じ
地震だっ
!!
ヒョッ!!
なんちゅう
こっちゃあ
こんだときに
地震だなんてっ
!!
おおっ
み 水がまるで
ふきでてる
みたいに
さかまいて
やがるっ!!
ゴゴゴゴゴ

天からふったか
地からわいたか
耳をつんざく
轟音と同時に
大地ははげしく
ゆれた!!
ゴゴゴゴ
うひゃ〜〜〜っ
とと
一平
じいちゃ——ん
ユリ
ユリちゃんっ!!
キャ——ッ
ドドドド
おちつけ
おちつけ
ユリちゃん
すぐ
おさまる
から!!


うわ〜〜っ!!
あうっ!!
ブーオッ!!

三平くん
いかん!!
ロッドを
すてろっ!!
これじゃあ
滝太郎
どころの
さわぎじゃ
ねえぜえっ!!

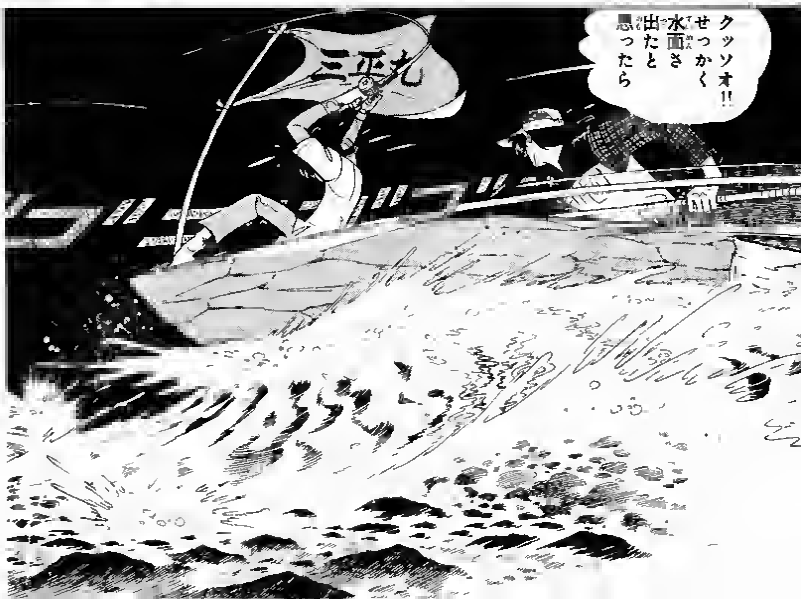
魚紳さーん
なにをいうだーっじょうだんでねえ——っ!!
せっかくかけた滝大郎じゃねえか——っ!!
おおらあ死んだってロッドをはなすもんか——っ!!
ああっ!!

ああっ!?
ウッ!?
ああっ
あ あれはっ
!?

ううぅぅぅぅ!!

魚紳さん
あれだっ!!
あいつだっ!!

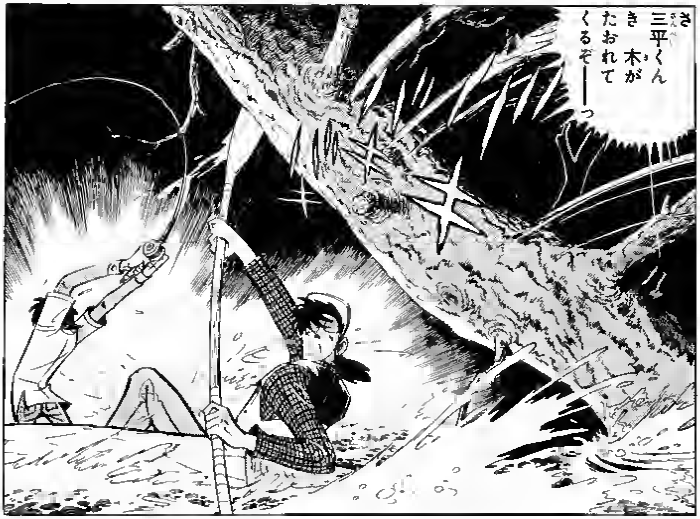
17
ああっ
あ あれはっ

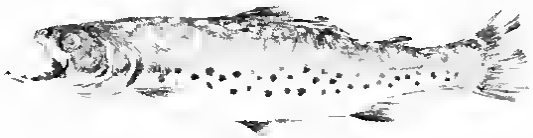

三平丸
クッソオ!!
せっかく
水面さ
出たと
思ったら

あれは
きさしく
……
滝太郎
だっ!!

まーた
地球のわれめさ
つっこんで
いきやが
る〜〜〜っ
ジュゴゴゴゴ

ウォ――ッ
ひ ひでえ
ゆれだ
ゴゴゴゴゴ
三平くん
もう だめだっ
あきらめて
ロッド(竿)を
すてろっ!!
じょ
じょうだんじゃ
ねえだ
魚神さん
地震なんて
そんただ
ながいこと
ゆれつづける
もんでねえべ
ここが
しんぼうの
しどころ
だ――っ
ウソ
水が
まるて
ふきだし
てくるる
みたいだ
あっ
あぶないっ
!!


さ三平くん
き木がたおれてくるぞ——っ



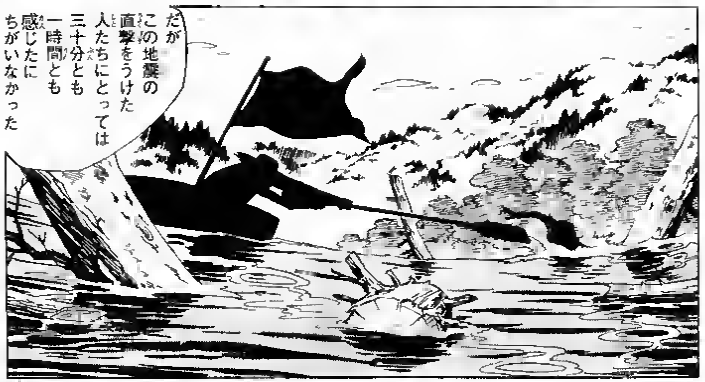
うわーーっ

ウップ!!
ピッ
ああっ
三平くん!!
クッ…ッ
残念無念
もうすこしだったのになあ…

ああっ!!
くずれていくっ!!
ゴゴゴゴ
なんちゅうこった!?
地球のわれめがふさがれていくでねえか…
ズズズズ
ゴゴゴゴ

ゴゴゴ

ほんの
一分たらずの
できごとだった
のかもしれない


だが
この地震の
直撃をうけた
人たちにとっては
三十分とも
一時間とも
感じたに
ちがいなかった

滝太郎は
そのもかしより
O池にすむ
珍魚なり
かつて
幾百人これに
いどみても
釣られたる
ためしなし……

ちなみにこの日O池一帯をおそった地震を観測した観測所のデータによれば震源地　O池周辺を中心とした　地下二十キロメートルの直下型地震

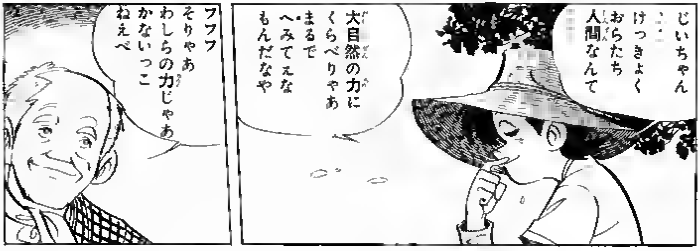
震度　5

マグニチュード　六・五

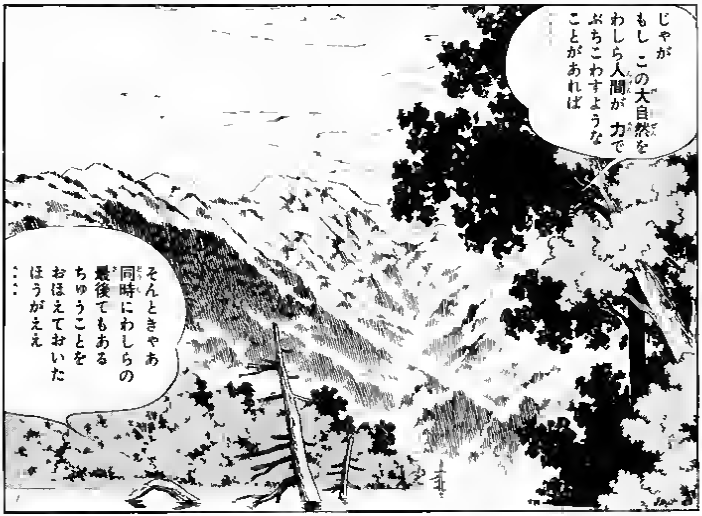
有感半径　五百キロメートルにおよんだという

町のセトモノ店では
商品がメチャクチャに
こわされて大損害を
こうむり・
山ぎわの農家では
裏から
ころげおちた大岩が
屋根をつきやぶって
へやの中へ
まいこんだという

はげしい大型地震には
つきものの余震が
その後 三か月間のだけ
でも二百数十回も
記録されたという
・・・


じいちゃん
・・・
けっきょく
おらたち
人間なんて
大自然の力に
くらべりゃあ
まるで
へみてえな
もんだなや
フフフ
そりゃあ
わしらの力じゃあ
かないっこ
ねえべ

んだって
わしら
人間ばかりじゃ
ねえ
魚だって
鳥だって
木だって
草だって
大自然ちゅう
やつは みんな
ひとまとめに
して めんどうみて
いるんだからな


じゃが
もし この大自然を
わしら人間が 力で
ぶちこわすような
ことがあれば
そんときゃあ
同時にわしらの
最後でもある
ちゅうことを
おぼえておいた
ほうがええ
……

ウ～～～ム

一平じいさん
滝太郎は
地球のわれめに
永遠に
とざされて
しまったそう
ですけど

けっきょく
どんな魚なの
でしょうね

さて・・

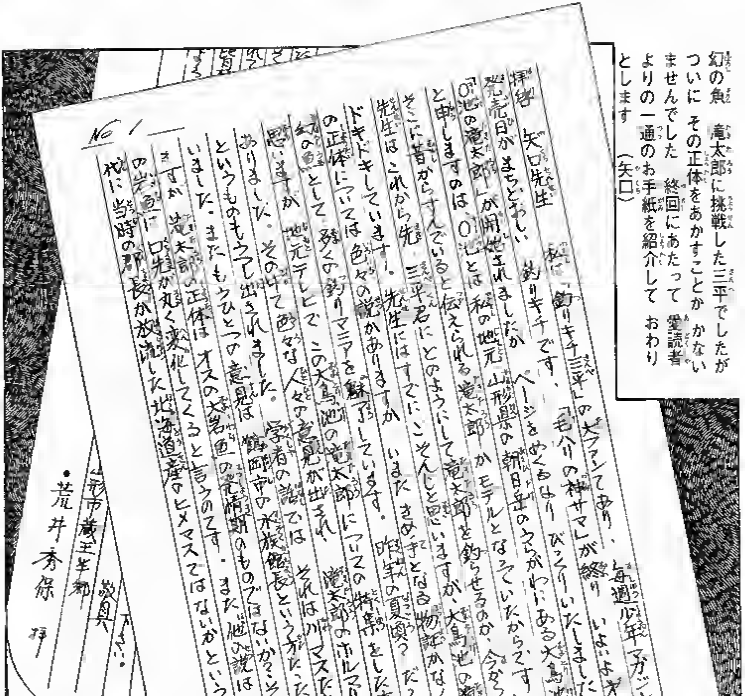
新種・雑種
奇形・・・・と
いろんな説が
あるようじゃが
わしには
はっきりした
ことは
わからん・・・・

滝太郎は
滝太郎さ
・・・・

もしかしたら
とおい外国から
たまごが
水鳥の足さ
くっついて
はこばれて
きたんじゃ
ねぇかなあ
・・・

三平たち一行は
いまだ 余憂の
さめやらぬ
O池を辞した
・・・・
・・・・

幻の魚 竜太郎に挑戦した三平でしたがついに その正体をあかすことか かないませんでした 終回にあたって 愛読者よりの一通のお手紙を紹介して おわりとします（矢口）



O池の竜太郎の巻後編 おわり

竜神滝の竜の巻

ええっ!?
竜神滝に竜がでただとオ……!?

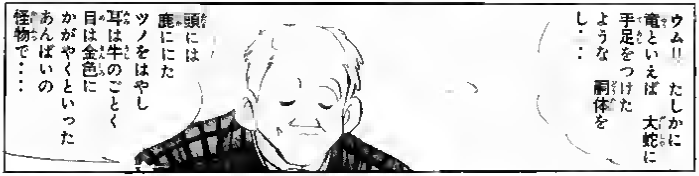
竜ちゅうたらあの……
目が蛇で鹿みてえなツノをはやし牛みてえな耳をしたおっかねえやつで……

よく掛軸やびょうぶ絵なんかにかかれてる
アレのことけえ……!?
いやじつは竜神滝の竜の正体ちゅうのは……
どうやら……
な なんだとオ……!?
一メートルほどのツノのはえた魚だとオ……!?

三平
矢口高雄
矢口プロ作品

竜神滝の竜の巻
PART 1
釣りキチ

そ そんな
なんぼなんても
牛や鹿しゃ
あるめえし
ツノのはえた
角なんて
信じる
わけには
いかねえべ!!


ウム!! たしかに
竜といえば 大蛇に
手足をつけた
ような 胴体を
し・・・
頭には
鹿ににた
ツノをはやし
耳は牛のごとく
目は金色に
かがやくといった
あんばいの
怪物で・・・

おそらく
そのむかし おとなりの
中国からつたわってきた
想像上のハ虫類と
いうことになる
じゃろが・・・
日本では
ふるくより
水神や海神などの
水をつかさどる
神として 信仰の
対象となって
きた・・・

げんに あの
竜神滝も
その名称から
しても……
竜神信仰に
由来する伝説に
いろどられた
滝じゃ……

その年このあたり一帯は……
とにかくひどい旱魃だったそうじゃ……
ギラギラとやけつくような日ざしの連続で……
雨つぶひとつふらない日が一か月あまりもつづいたため草木はすっかりしおれ……
田畑はひびわれて作物のほとんどがかれかけていたという……
ほとほとこまりはてた村人たちは何度も雨ごいをしたのだがいっこうに雨がふってくれない……

それもそのはず
村の山奥にすむ
ひとりの行者が
雨をふらせる
竜神さまを
つかまえて…
竜壺に
とじこめて
しまったと
いうので
ある…

村人たちは総出で 行者のもとに はせさんじなんとか竜神さまをときはなし雨つゆをめぐんでくれと 懇願したのだが・・
腹黒い行者は無理難題をふっかけ・・
あげくのはてには さかだちしてもおうじきれないほどのみつぎ物を村人に要求するしまつ・・

とほうにくれていたところ村人のひとりが……
「行者は 無類の酒ずきである」ということをききつけてきた
村人はさっそくドブロクをつくって行者のすむ滝にひそかにはこんだ
そうじゃ……
ゴボゴボ

ン!?
この
におい
は…!?
おお…
酒だ!!
いつのまに
こんなところに
酒が…!?
ガハハハハ
こんなこと
したって
ムダじゃ
こんなもんで
買収される
わしでは
ないわい!!
さては
百姓どもが
わしの気げんを
とろうとして
はこんだな
かし
せっかくの
供物であるから
ちそうに
あずかると
するか…

ング!!
フェ〜〜〜
うめえ
ハラワタに
じくじくしみて
くるわい!!
もともと酒ずきの
行者は まるで
酒ガメをだきこむ
ようにして
のみはじめ
ひとつめの
酒ガメを
のみほす
ころには
すっかり
よっぱらっていた

じゃが それが
村人たちの
策略であった
!!
ウイ〜〜〜ッ

それっ
いまじゃ！
行者が
ねこんでるまに
竜をしばってる
あのしめ縄を
きるんじゃ!!
おうっ!!

と!! しめ縄が
切断されるやいなや
一天にわかに
かきくもり 雷鳴が
とどろきわたった
ゴロ
ゴロ
ゴロ
ゴロ
ゴロ
ゴロ
けたたましい
雷鳴に 泥酔の
行者が 目を
さましたときは
すでに
おそかった!!

ウッ!!
ああっ!!

うわ～～～っ!!
だ だれだ
しめ縄を
ほどいたの
は～～～っ!!

ああっ

ああ

あ

ああっ!!

雨だ!!
あ 雨が ふってきた ぞ～～～っ!!
うわ～～っ やった――っ!!
とうとう 雨が ふって きたそ――っ!!
…てなことで この年 この地方を おそった旱魃から どうにか まぬがれたと いうのが…
竜神滝に まつわる むかしの 話じゃ

ウ～～～ン
むかしは 農業技術も
進歩してなかったんで
よく 旱魃や冷害に
なやまされることが
多かったらしいし
今日でも
雨乞いの行事が
村祭りとして
おこなわれている
ところもあると
きくが…
竜のおかげで
雨がふってきた
ちゅうのは
やっぱし
昔話の迷信に
きまってるべ…
ましてや
伝説の竜に
ひっかけた
みてえに
ツノをはやした
竜角がいるだ
なんて話
なんか
信じられる
わけは ねえ
べ…!!
いや たしかに
竜神伝説が
迷信であることは
今日では
だれにもうたがう
余地のねえ
ことだが
竜巣を
見たという
人間は ひとりや
ふたりじゃ
ねえだ!!

なかでも その
竜神滝一帯を
てめえの庭のように
釣りまくっている
イワナ釣りの名人
丈助なんざあ
何度も
釣ろうと
こころみた
ことがあると
いうだ
イワナ釣りの名人
丈助・・・・!?
ガハハハハ
よくきた
わしが丈助
じゃ・・・・!!
ナーニ!?
竜魚のことが
信じられんと
いうのか
・・・・

きまってる
じゃねえか
……！
ギッ
あんなやつ
だれにだって
信じられんさ
……!!

けんに　このわしでさえ
はじめて見たときには……
われとわが目をうたがったほどじゃから
話をきいただけのおめえが信じられんちゅうのはあったりめえのことよオ!!

しかし事実は小説よりも奇なりとはけだし名言……!!
竜神滝の竜魚は身のたけおよそ三尺三寸（約一メートル）にして……
頭部にはあきらかにツノとおぼしきものが二本ニョッキリとはえとる……

ヘエ～～～ッ
体長が一メートルほどで二本のツノがニョッキリ……!?
とにかくついてこい！
竜神滝への案内はわしがバッチリひきうけた!!
よろしくおねがいしまーす!!
まーかしとけって!!

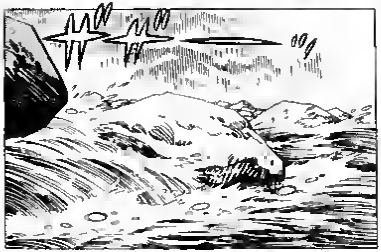
ドドド
フェ〜〜ッ
すんごい
谷だなや
ヒュ〜ル
足もとき
気イつけろ
……!!
ふみはずしたら
命はねえぞ
……!!
ハ ハイッ!!

おいおい
三平くん
……
そりゃあ
昔話の
迷信じゃ
なかったかな
……

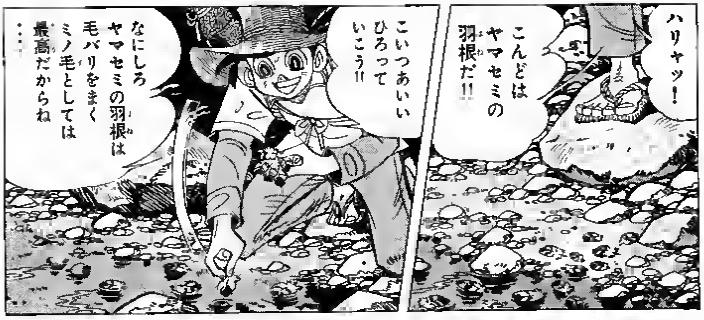
オット!!
そ　それにしても
むかしの人たちは
こんだとこを
どうやって酒ガメを
はこんだんだべ

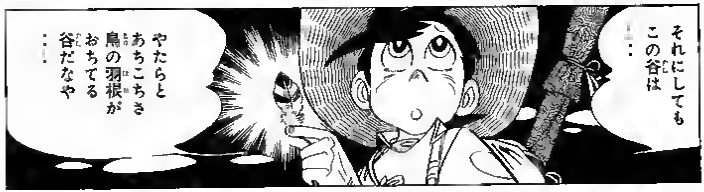
もちろん
そうだけど
……
なんとなく
きのうの話が
思いだされた
もんで……

さあ
こっからは
河原づたいに
のぼっていくぞ



フェ〜〜〜ッ
渓流釣りもこんだところだけあるけるんだったらラクチンなんだけどなあ…
おやっ?
ありゃ!!
じいちゃんここにもあるぞ!!
ウム
おそらく水をのみにおりたところをイタチかテンにつかまって食われたんじゃろ


ハリャッ！
こんどは
ヤマセミの
羽根だ!!
こいつあいい
ひろって
いこう!!
なにしろ
ヤマセミの羽根は
毛バリをまく
ミノ毛としては
最高だからね
……


それにしても
この谷は
……
やたらと
あちこちさ
鳥の羽根が
おちてる
谷だなや
……

カワガラス
か……

フフフ
三平くん
きこえてきたろう
滝の音が……
ええっ……!?
するとあの音が竜神滝の音けえ……!?
そうさ あの岩かとをまかれば めざす竜神滝さ
ウッヒャ〜〜ソ!!
うわあすすんごい……
ここが竜のすみか竜神滝ってわけけえ!!

な
な――るほど！

これなら
むかしの人が
竜がすんでいると
かんがえたとしても
ふしぎはねえ
滝壺だ!!

ほんで 丈助さん
いってぇ その
青色ってやつは
どのあたりさ
いるだ!!
ハハハ
むろん あの
滝壺しゃが
めったなことで
姿をあらわさん
やつじゃから
うめぇこと
見られるかどうか
心配じゃ…
しかも 見ての
とおり この青神滝は
両岸が きりたっていて
まっこと 足場が
わるく
ふつうの
渓流竿じゃあ
滝壺をせめる
ことが むりと
きてるから
いつも
くやしい思いで
ながめてかえるって
ことになるのさ
すると
いままで あの
滝壺には
竿がはいった
ことがねえと
いうのけぇ
…!?
そんなことは
ねえ…
わしはわしなりに
かんがえうるかぎりの
方策をこうじて
みた…

しかし いかんせん 足場の問題で・・
なっとくいく せめをした ことがねえ
そんなら 心配ねえさ
こんなことも あろうかと思って 渓流竿のほかに キャスティング ロッドも準備して きたから・・

キャスティング ロッド・・・!?

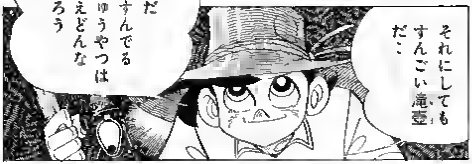
ハハーン
これがちかごろ わけえ人たちの あいだで 大人気の ルアーとか いうやつだな・・
キャ

こいつさ・・・
こいつなら とばそうと 思えば 二十メートルでも 三十メートルでも かるいもんよ

そうだけど・・
丈助さんは ルアーを見るのは はじめてけえ!?

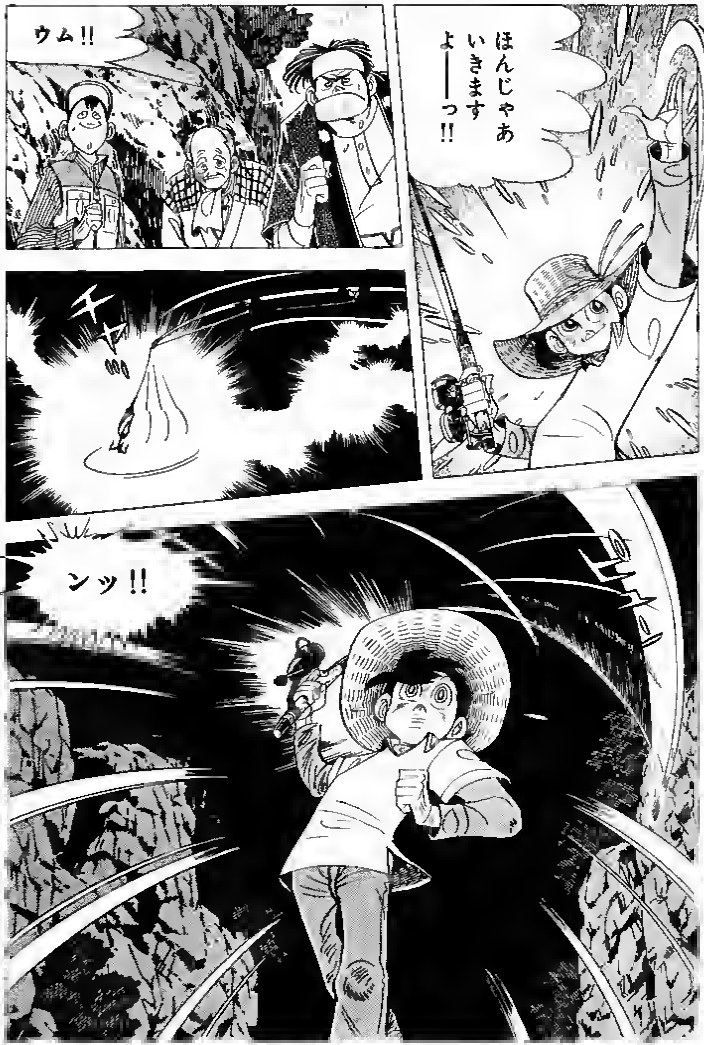
ウ〜〜〜ン
話には
きいたことが
あるが
見るのは
はじめて
じゃ
ほんしゃあ
いっちょう
あの滝壺を
直撃して
みせるから
じっくり
見物してて
くれっ!!
ウッヒョ〜〜〜ッ
ウ〜〜〜ン
あんただ
金屠片で
釣りをする
なんて 世のなか
かわればかわる
もんだ
フフフ たしかに
世のなかの進歩に
つれて さまざまの
釣り方が かんがえ
だされているが
竿とイトと
ハリをつかって
釣るという
基本は むかしと
なんらかわる
ことはねえ
そりゃあ
そうだけど

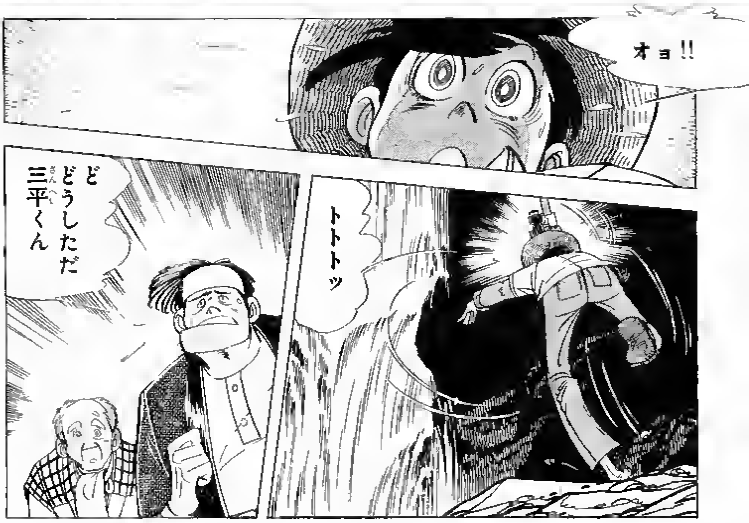
ケッヘヘヘ
この岩がいちばん
滝壺さちかい
足場ってことに
なるが
ひょっとしたら
行者がよっぱらって
ねむりこんで
しまったという
岩は この岩かも
しれねえなや

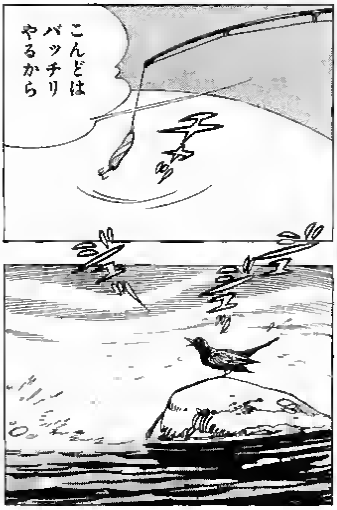

それにしても
すんごい滝壺
だ…
こんだけ
滝壺にすんでる
雑魚ちゅうやつは
いってえどんな
やつだろう

オノト
いまはそんただ
ことを
かんがえてる
ばあいじゃねえ

とにかく
丈助さんも
見てることだし
なにがでてくるか
わからんが……
滝壺の
どまんなかから
せめてみるべ
……!!


ウム!!
ほんじゃあ
いきます
よ――っ!!
ンッ!!

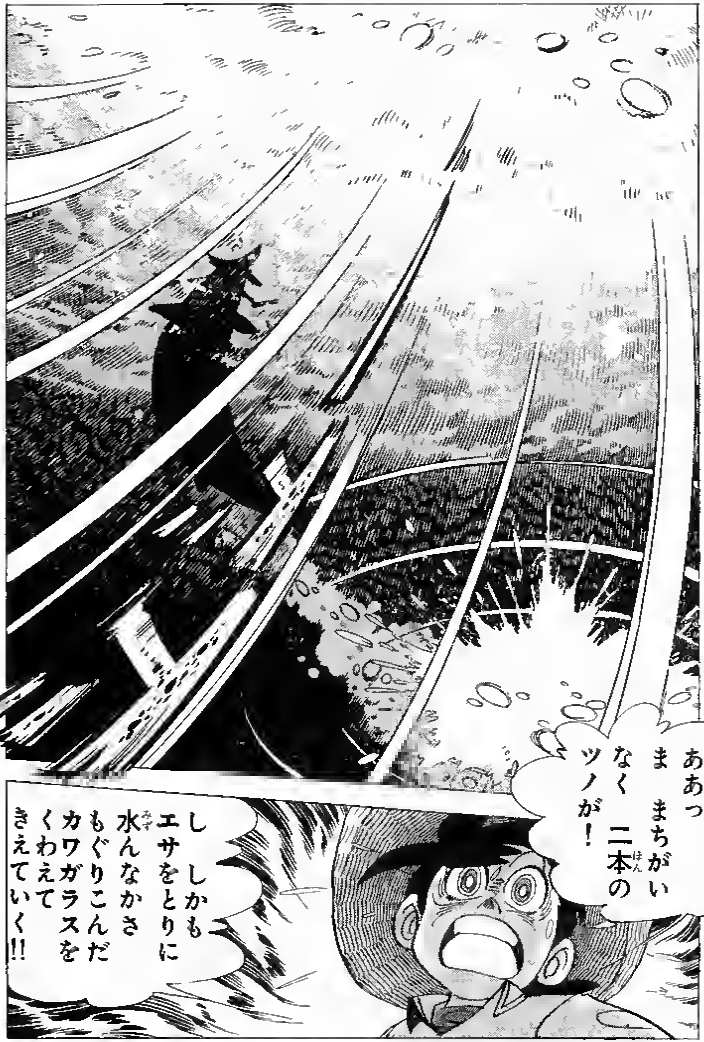

オョ!!
トトトッ
どうしただ三平くん


ケッヘヘヘ
わりいわりい
投げようとしたら
いきなり
カワガラスが
あらわれた
もんだから
つい 気がちって
投げそびれて
しまったんだ…

こんどは
バッチリ
やるから

ウッ!!

竜魚だっ!!
三平くん
そいつの頭を
よーく見ろ!!
ううっ!!


ああっ
ま　まちがい
なく　二本の
ツノが！
しかも
エサをとりに
水んなかさ
もぐりこんだ
カワガラスを
くわえて
きえていく!!

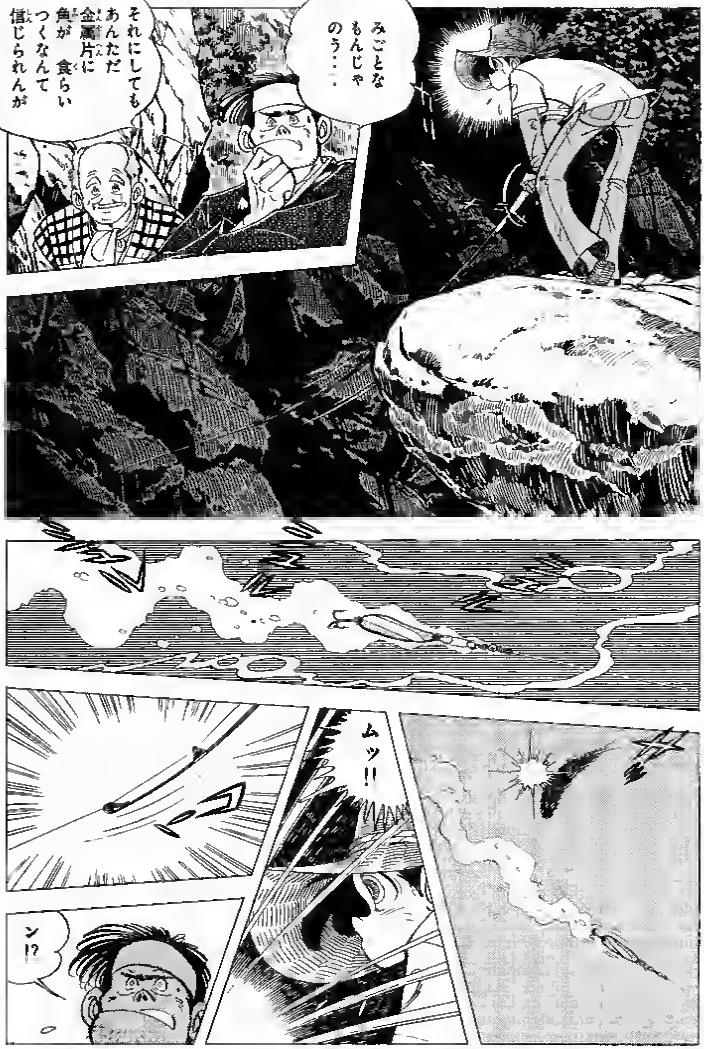
竜神滝の竜の巻
PART 2

ああっ!!

ううっ
なんちゅう
こった
たしかに
ツノが
はえてた・・・
お おらあ
夢でもみて
いるんしゃ
ないのか・・・
うんにゃ
これは
夢じゃねぇ
・・・
いまのは
まさに
竜魚!!・・・!!
しかも
エサをとりに
水中さもぐった
カワガラスを
くわえて
竜壺さ
きえて
いった・・・

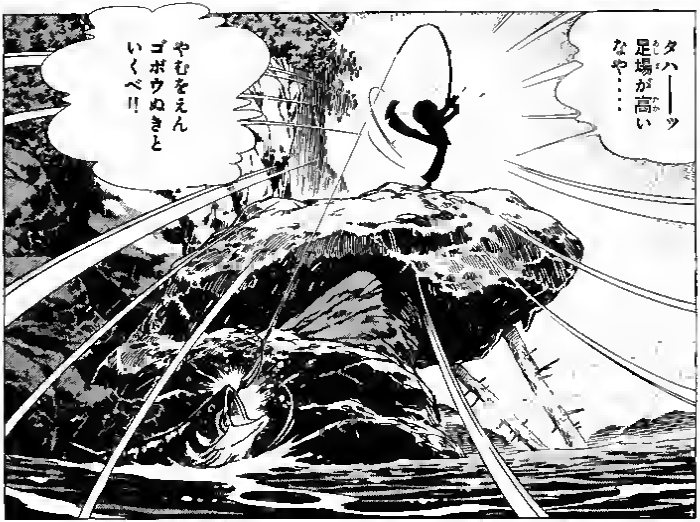
ようし
こうなったら
いっちょう
釣りあげ
て・・・
竜魚の
正体を
あばいて
やるっ!!

ガチョ!
オッ!!
丈助さん
いよいよ
はじまった
ぜ
三平くんの
竜魚への
アタックが
…!!
チャ
ウ〜〜ム!!


みごとなもんじゃのう……
それにしてもあんただ金属片に魚が食らいつくなんて信じられんが……
ムッ!!
ン!?

ヒョオッ
あ〜〜ん!?
やった!!
フェ〜〜ッ
な なんちゅう
こった
一発で
ねえけえ!!
ウッ!!

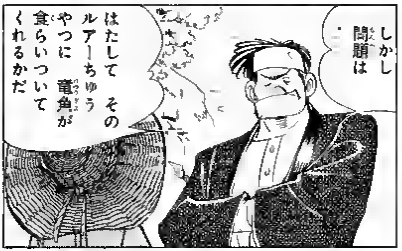
ウヒャ〜〜〜ッ
イワナだっ!!
しかも
尺上
(三十センチ
以上)はある
……!!
ウ〜〜〜ン
なるほど
これが
ルアー釣り
というやつか


タハ——ッ
足場が高い
なや……
やむをえん
ゴボウぬき
といくべ!!

ホイッ!!
ビシャ
それぃぃぃっ!!
いっちょう
あがり
〰〰っ!!

フフフ
三平くん
たいした
もんじゃ
ねえか
……

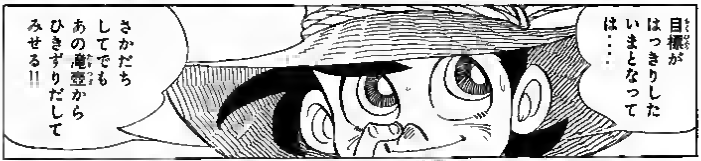
細くてせまい
日本の渓流になんか
ルアーのはいる
余地なんか ねえ
もんと 思っ
とったが……
これだけの
釣り場ともなれば
やはり 手竿には
ねえ 利器と
いえよう……


しかし
問題は
……
はたして そのルアーちゅうやつに 竜魚が食らいついてくれるかだ

丈助さん!!
それなら問題は
ねえだ……
なぜなら 竜魚は
さっき見たとおり
おらたちの目の前で
カワガラスをくわえて
きえたべ!!

カワガラスを
くわえたちゅうことは
なにをかくそう
竜魚がかなり獰猛な
肉食魚であることを
物語るわけだし……
そのような魚に
もっとも
効果を発揮する
のが このルアーちゅうやつだから
竜魚が
食らいつくのは
時間の問題だべ……!!

フフフ きすがおとな顔まけの釣りキチといわれるだけあって…
三平くんの理論は じつに整然たるものじゃのう…
しかし それはあくまでも人間さまの考えであって…
はたして竜魚が人間さまの思いどおりにうごいてくれるかちゅうこった…
丈助さんそんなにむずかしく考えることもねえべ…


目標がはっきりしたいまとなっては…
さかだちしてでもあの竜壁からひきずりだしてみせる!!

みてろ…!!

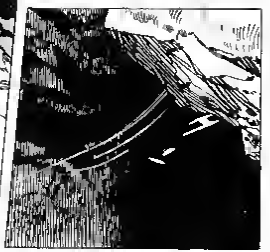
こりゃあ
どうやら
しばらくのあいだは
この竜神滝も
三平の独壇場と
いうことに
なりそうじゃの
……
フフフフ……
まったく
まったく
……
一服しながら
しばらく
見学すると
しよう

カリ
カリ
カリ

こりゃあ
どうも

ホイッ

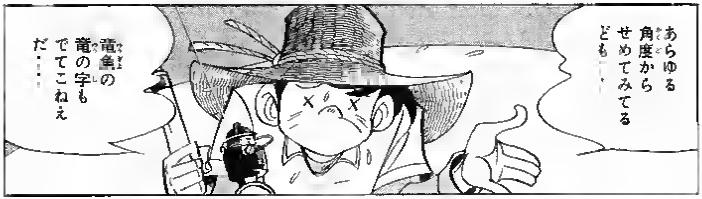
ハリャッ!?
ゴボ
ゴボ
ヒョオノ!!

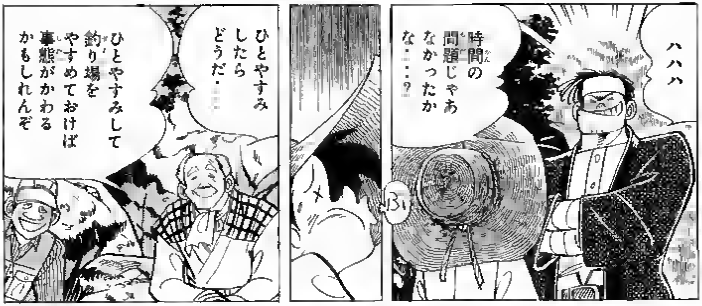


ウヒャ〜〜ッ
また
イワナ
か…
プラグに
かえて
みるべ

ホイッ!!
ンッ!!

どうじゃな
三平くん
ク〜〜〜ッ
見れば
わかるべ
釣れるのは
イワナ
ばっかし
…


あらゆる
角度から
せめてみてる
ども…
竜の字の
竜の字も
でてこねえ
だ…


ハハハ
時間の
問題じゃあ
なかったかな…？
ひとやすみ
したら
どうだ…
ひとやすみして
釣り場を
やすめておけば
事態がかわる
かもしれんぞ

フフフ
なみの魚なら
その手も
きくじゃろが
どんなことを
したって ムダ
じゃよ
このわしが
あらゆる手だてを
つくしても
やつじゃったから
なあ…

うううむ
それもそうじゃな…
この谷の主といわれる丈助さんでさえ釣れん魚ということになればおめえなんかの手におえるやつじゃねえかもしれんな
んだどもじいちゃんあいつはカワガラスをくわえたんだぜ…
そんただ獰猛なやつが釣れねえわけはねえべ!!
キッヒッヒ
それじゃあカワガラスをとっつかまえてエサにでもするか…
えええっ!?
丈助さんいまなんといっただ…!?
なんとって……
カワガラスをとっつかまえてエサにでもして釣るか…といっただが
ウウッ!!
なるほど……

おおい三平くん
じょうだんだよ
じょうだん・・
こんただ
じょうだんを
まにうけられては
こまるなあ
ハハハ・・・
うんにゃ
丈助さん
・・・!
こいつあ
いちがいに
じょうだんとは
いえねえぞ!!
な なんだとオ
・・・・!?
おらあ
この谷さ
ふみこんで
から・・・
ず――っと
不思議に
思ってる
ことが
あるだ・・・・
こいつさ
・・・
三平
そりゃあ
くるとちゅう
ひろってきた
ヤマセミの羽根で
ねえけえ・・・?
そうさ!!
この谷には
あちこちさ
やたらと こんな
羽根がちらばって
いた・・・
そんで じいちゃんは
その羽根を
石のうえでやすんでた
水鳥が イタチか
テンにおそわれ
たんだろうと
いってた・・・

だが
もしこれが
カワガラスと
おなじように
…
竜魚の
餌食になった
水鳥の羽根
だとしたら
…

ええっ!?
な
なるほど
…

つまり これは
あくまでも おらの
あてずっぽうの
推理だが…
ひょっとしたら
竜魚はもっぱら
水鳥をエサにして
生きてるんじゃ
ねえかって
ことさ…

そう考えれば
いままでに
…
あらゆるエサや
しかけを こころ
みても 釣れな
かったちゅう
ことも 説明が
つくべ…!!

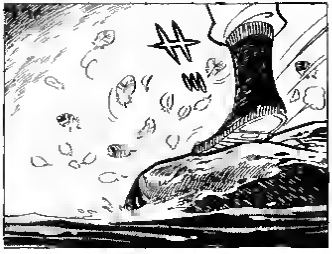
ウ～～ム
な なるほど…
じ じつに
大胆なる
発想…!!

しかし
だからちゅうて
まさか水鳥を
エサにするわけ
にも いくめえ
だいいち
そんただ釣り方なんて
いままで見たことも
きいたこともねえぜ!!
丈助さん!
そんただ
いままでの常識に
こだわってたら
いつまでたっても
竜魚の正体を
あばくことは
できねえべ!!

こうなったら
常識やぶりの手で
いくしかねえ!
わりいが
みんなで
手わけして
できるだけ
たくさんの
水鳥の羽根を
ひろいあつめて
くれ……!!

ええっ!?
水鳥の羽根を
あつめろだと
……!?

へへへへ……
また
ロクでもねえ
ことを 思いついた
ようじゃな
三平……



ウ〜〜〜ン
こんだ
水鳥の羽根なんか
あつめて
いってえ
なにをする気
なんだ〜〜

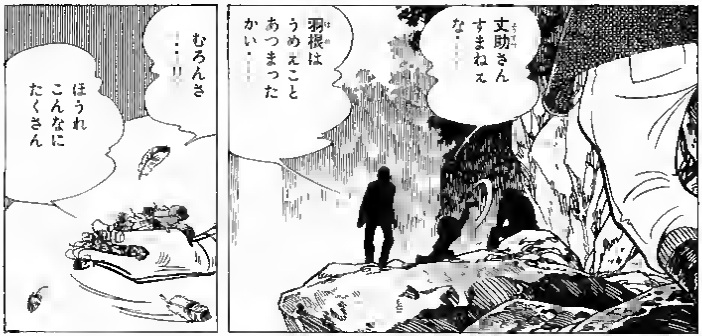
しかし
それにしても
おどろいたぜ
いままで
あんまし
とめてなかったが
これほどあちこちに
羽根がちらばって
いようとは…

こうなると
やっぱし
これらの
羽根は…
竜魚の餌食に
なった
水鳥の
羽根と考えるのも
まったくありえねえ
話ではねえ

げんにわれわれの
目の前で
カワガラスを
パクリと
やらかした
ことだし
あれだけの
図体をしとれば
水鳥ごときを
餌食にするなんて
わけもねえ話
だ…

だが それよりも
もし これが事実だとしたら……
やはり あの三平くんという少年は うわさどおりの 天才釣りキチじゃわい!!
こんただ 水鳥の羽根から……
竜魚の主食は もっぱら 水べをすみかとする 水鳥ではねえかなんちゅうとてつもねえ発想をするんだから……!!

フフフ 名人といわれたこのわしも……
あの子にかかっちゃあカタなしってとこだな……


丈助さん すまねぇな……
羽根は うめぇこと あつまったかい……
むろんさ……!!
ほうれ こんなにたくさん

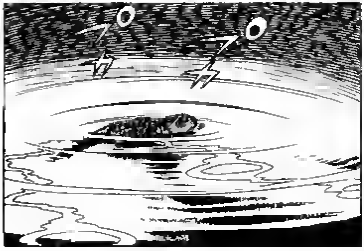
三平くん
なんだ
そりゃあ
……!?
ヘ
ヘ
ヘ……
どうやら
ひろいあつめた
羽根を 接着剤で
プラグにはりつけて
いるようです
フフフ
……

さあ
できたぞっ！
どうでえ
これなら
水鳥に
見えるべ!!
名づけて
三平式
常識やぶり
ルアーだ!!

おどん!
ふたりとも
なにを
ポケーッと
してるだ
さっそく
テストに
うつるから
どいた
どいた!!
うまく
いったら
おなぐさ
み〜〜〜っ!!
なんちゅうたって
いままで
この世に
なかった
常識やぶりの
ルアーときてる
から…
まずは
テストが
かんじんだ!!

オットもうちょいさがってくれ……
なにしろこれだけのシロモノだからかなりオーバーにキャスティングしないととどかないかもしれんからな
ほんじゃあますは……
常識やぶりのルアーの……
テスト開始だ〜〜い!!

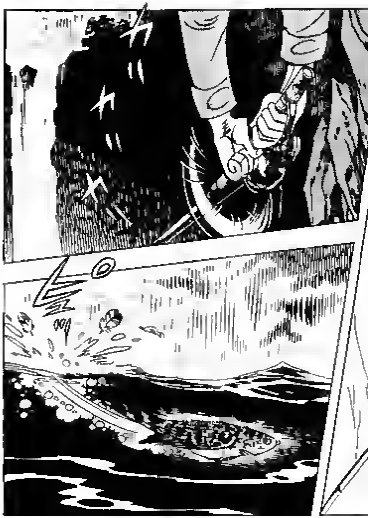
ウッヒョ〜ッ!!
ウオッ!!



ホイッ

やれやれ
どうにか
ポイントまで
とどいた
ようだなや

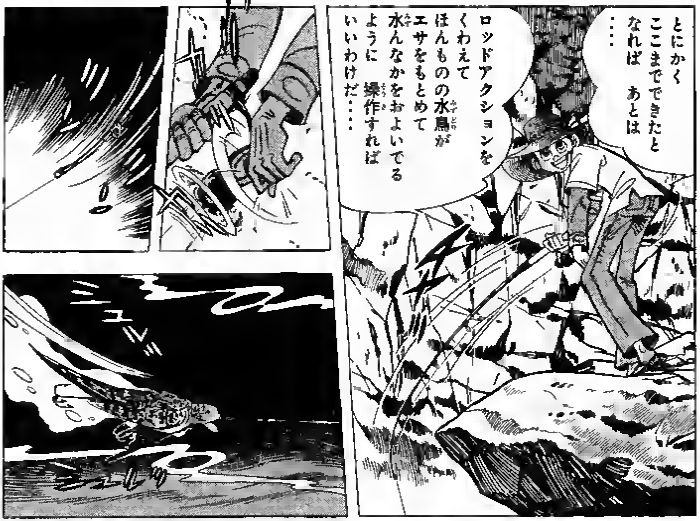
さてと
おつぎは
リーリングだ
……!!



ああっ!!
さ 三平くん
た たいした
もんじゃ
ねえか!!
どう
見たって
水鳥としか
見えん!!
へへへ
まあまあって
とこかな
……

なにしろ
にわかづくりで
接着剤がかわいて
なかったのか すこし
羽根がぬけとるし
……
ぷか
ぷか

しかし
欲をいえば
キリのねえ
こった……
これは
あくまでも
テストだから
気づいた点は
そのつど
なおせばいい
わけだ……

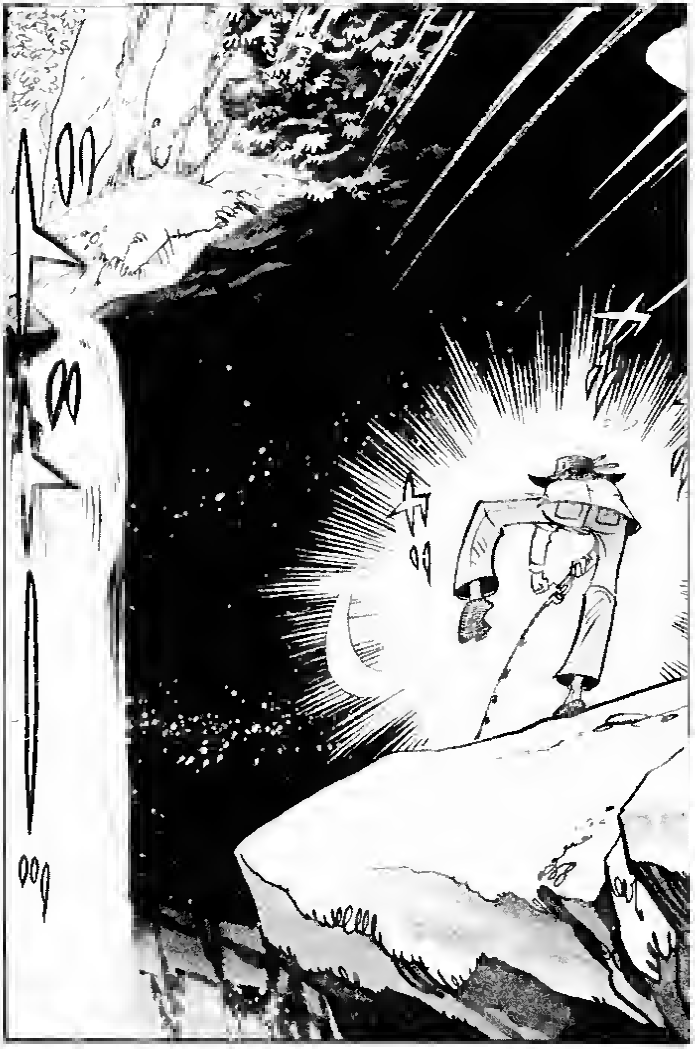

とにかく
ここまでできたと
なれば　あとは
……
ロッドアクションを
くわえて
ほんものの水鳥が
エサをもとめて
水んなかをおよいでる
ように　操作すれば
いいわけだ……
ジュルッ
ジュルッ

おおっ
こ　こいつぁ
たまげた
ぜ……!!
こりゃあ
まるで
ホンモノの
水鳥そのもの
だあ……!!

ウヒョ〜〜ッ
ざっと こんな
もんよォ!!
フフフ
三平のやつ
すっかり
得意に
なっとる
な……
しかし…
もしこの作戦が
成功することに
なれば…
三平の
推理とおり
竜魚の主食は
あきらかに
水鳥という
ことになる…

テストで
このくらい
いけるんなら
もうしぶん
ねえ……!!
快調!!
快調!!
しかし
そのばあいの
問題は
なぜ竜魚は
ほかのエサに
みむきもせずに
水扇のみを
ねらうように
なったかで
あり……
竜魚そのものが
いってえどんな
種に属する
魚であるか
……
そして
もっとも興味ある
ツノの正体は
なにかという
ことだ

ゴゴゴゴ
ゴゴゴゴ
ゴゴゴゴ



竜神滝の竜の巻
PART 3

ヘエ～～～
こいつあ
たまげた
なや・・・
まるで
ホンモノの
水鳥(みずどり)だぜ
・・・!!
まあ・・・
おらの考(かんが)えた
とおりとまでは
いかねえども
・・・・
テストで
このぐれえ
いけるんなら
もうしぶん
ねえべ!!
ケッヘッヘ
・・・・
とにかく あいつを
つくるとき だいぶ
気(き)があせってたんで
のりづけが あまかった
せいか 羽根(はね)が
五 六まい はがれ
ちもうている・・・・
ひとまず
補修(ほしゅう)してから
本番(ほんばん)と
いくべ!!

ヒュン
ヒュン
ヒュン
ユラ

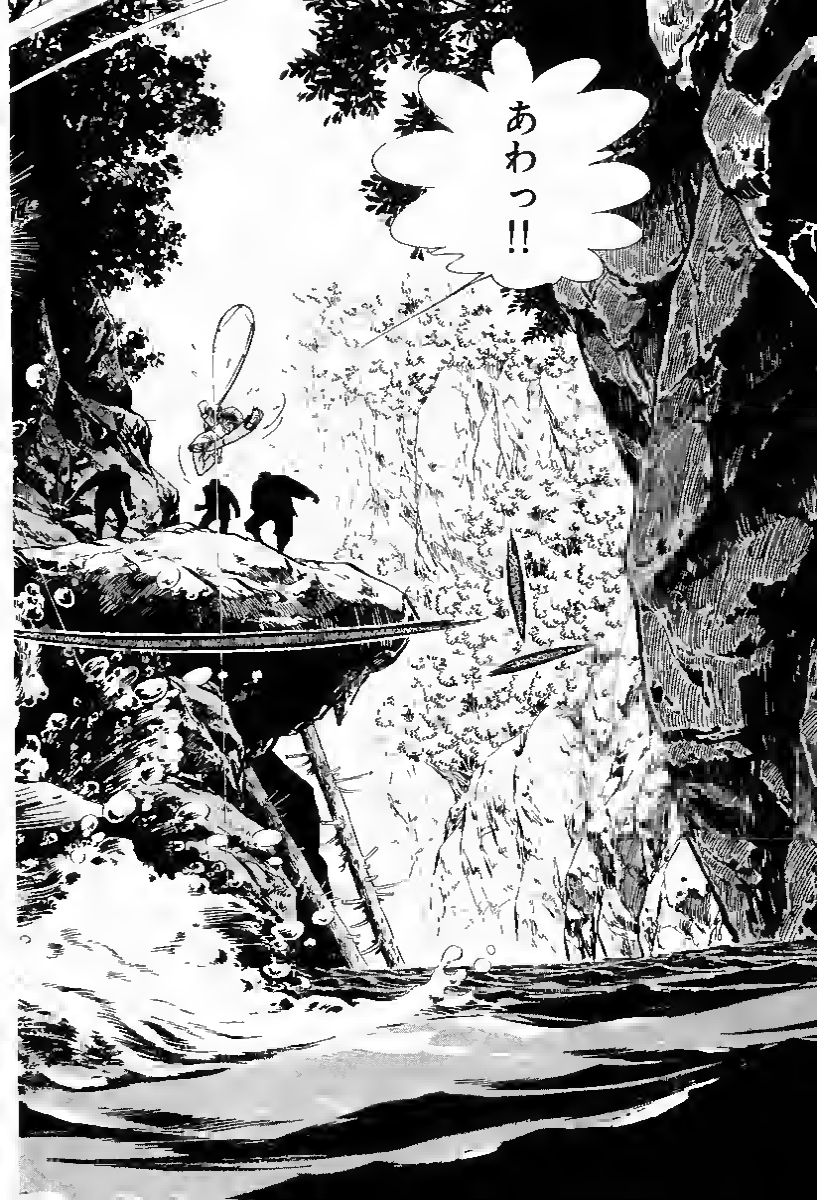
ン!?
!?
なんだこりゃあ……!?

三平くん
ひょっとしたら
根がかりじゃ
ないのか
……？
竜神滝は
一見深い
よどみに
見えるが
……
じつは
底にはかなりの
風倒木が
しずんどる
ま
まさか
うんにゃ
その可能性は
大ありだ
クくくッ
すると　やっぱし
根がかりか
なんてこった
せ――っかく
考案した
三平式ルアーも
たった一回の
テストて
オジャンか
……!!
ムッ!!

三平――
あきらめるのは
はやいぞ！
み見ろ
そいつあ
根がかりじゃ
ねえ!!
ええっ!?
うわ〜〜っ!!

な なんだ
こりゃあ!?
な なんか
かかってる
ぞ～～～っ!!
ああっ!!

ウオッ
あ　あれは!?
ンゲッ


あわっ!!

ああ
あの二本のツノは……!!
竜魚……!!

うわ〜〜っ
竜魚だ〜〜っ!!
竜魚が
かかってる
そ〜〜〜っ!!
こ こんただ
バカなこと
が…
わしは
夢を見て
いるんだ
これは
夢じゃ
丈助さん
なにをねぼけて
いるだ!!
こいつは
夢なんかじゃ
ねえ!
竜魚は
おらの作戦さ
ピタリ はまり
おったんだぜ!!

し しかし……
こうまで作戦どおりに事がはこぶなんて し 信じられん
信じられねえのはおたがいさまだべ！
おらだってじつのところこんなにうめえこといくなんて思ってもいなかっただ～～っ!!
なにしろ心の準備もなにもしてねえテストの最中にガツンだから……
びっくらこいたのなんのってあぶなく肝をつぶすとこだっただ～～っ!!
オ――ットトト！
慣性さもぐる気だなっ!!

クッソオ
そうは
させんぞ！
そんなこと
されちゃあ
岩かどで ラインが
すれて 一巻の
おわりだべ!!

ウ～～～ム
まさに
ひょうたんから
駒って
とこだな…
しかし
それにしても
うめえこと
かかった
もんじゃて

それも
水鳥になぞらえた
ルアーに食らいついた
ちゅうことは…
やはり 三平の
推理とおり
竜魚はもっぱら
水鳥を餌食にする
習性の魚である
ちゅうことは ほぼ
まちがいあるめえ
うんにゃ
それよりも
なによりも
ほんの
一瞬ではあったが
水面にブチあがった
あの魚体は……

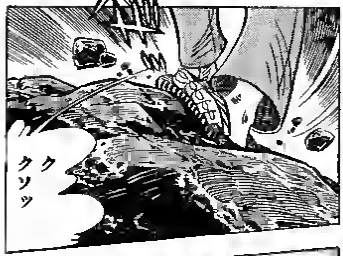
体色といい
斑点といい
イワナのそれと
酷似していた
……
……
とすれば
竜魚の正体は
大イワナと
いうことか
……!?

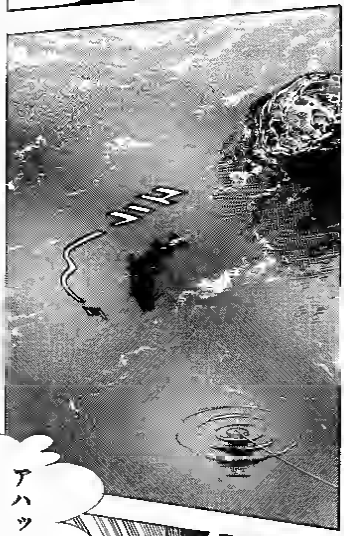
もし
イワナで
あると
すれば
口にできる
ものならば
なんでも
食っちまうという
イワナの 食欲な
食性からして
水鳥の一羽や二羽
食らったとしても
不思議はねえ!!

しかし
ほかのエサには
みむきも
しねえで……
水鳥のみを
ねらうという
のは どういう
わけだ……

そして
なんちゅうても
最大の謎は
あの 二本の
ツノじゃ……

すべての謎は
あの二本のツノが
ときあかして
くれるに
ちがいねえ……


ククッッ


BUG

アハッ!!
ウッ!!

ガ〜〜〜ッ
さーすが三平くんだぜ……！
竜魚のやつだいぶくたびれてきたみたいだぜ……!!
おいおい外野席であんましさわがねえでくれよオ!!

みょうにさわがれるとついあせっちまうだ！
なにしろ相手は得体のしれねえ竜魚ときてるから
慎重のうえにも慎重を期さねばな……!!

なるほど しかし 三平…
いかに 慎重を 期すとはいっても とりこみを どうするか ぐれえは 考えて いるんじゃ ろうな…?
ええっ!?
みょうな ことを いうで ねえけえ じいちゃん!?
ごらんのとおり 徹底的に ファイトさせて つかれたところを とりこむのが 常識だべ!!
そりゃあ そうじゃろ が…
わしの いっとるのは その足場から どうやって とりこむのかと きいてるだ…
あぁ!!
そ そういえば ここは水面より 四五メートルは 高い岩のうえ…

こ こんなネットじゃあとても とどかないし……
かといってあんな巨体をゴボウぬきにすればわざわざバラしにいくようなもんだし……
……下流に誘導していけばすごい急流がまちかまえているし……
クゥ～～ッなんちゅうこった！
まさか テスト中にかかるとは 思ってなかったんで足場の計算まではしてなかっただ……!!

ウヌヌ!!
丈助さん
なにを
なにを
やらかす
つもりなんだ!?
きまってる
じゃねえか!
いまのわしに
できることは
三平くんの
玉網になる
ことじゃ!!

玉網となって竜魚をすくいとることじゃ——い!!
じ丈助さん!
ムッ!!
ああ!!
まま竜魚はじゅうぶんに弱りきっていねえ〜〜〜!!

ウオ〰〰ッ

ヒョオッ!!
ポ!
ああっ!!
ンギッ!!

うわ～～～っ
バレた～～～っ!!

なんてこった
せっかくヒット
させた 竜魚を
バラしちまう
なんて
こんただことに
なったのも
じいちゃんの
せいだぞ
じいちゃんが
いきなり
足場がどうの
こうのと
いったから
なんだ!!
三平!!
なにを
ゴチャゴチャ
ほざいとる
あれを見ろ
ああっ!!
ウオ――ッ!!

ドン

アハッ!!
やった――っ!!
やったぞ～～～っ!!
竜神滝の竜魚をすくいとったぞ～～～っ!!

こ これが
竜魚か
……!!
ウム

丈助さん!!
な　なんだか形や　色ぐあいからしてイワナににてると思わねえか!?
ウム　どっから見てもイワナそのものとしか　いいようがねえ……

いや　これはあきらかにイワナだよ!!

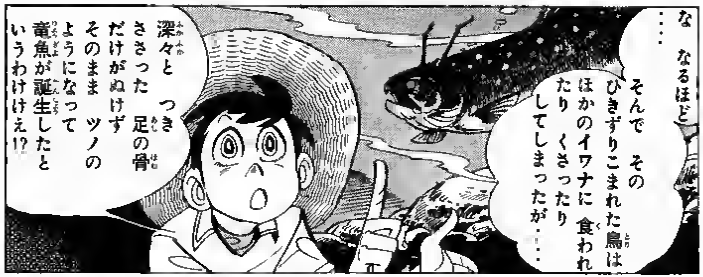
ンだともこの二本のツノはいってえどうやってはえたもんだべ!!

三平!!　ようく見ろ……
そいつあツノじゃなく爪のするどい鳥の足の骨じゃよ!!

ああっそ　そういえばつけ根のあたりの肉がもりあがっておおいかくされているが……
よく見ると　これは鳥の足だ……!!

ホントだ 鳥の足だ……
フフフ とうやら これで とけたぞ……
竜魚が かたっぱしから 水鳥を餌食に するようになった わけが……
じいちゃん 自分ばっかし なっとくして ねえで……
もうすこし くわしく 話して くれよ
フフフ くわしくと いったって これは あくまでも わしの想像に すぎんが……
おそらく こいつは かつて……
タカのような 爪のするどい 鳥におそわれたに ちげえねえ……
タカのような 爪のするどい 鳥……!?

鳥のなかでミサゴとよばれる鳥は 魚を専門にねらう鳥だといわれとる
もし 竜魚がふつうの小魚だったらおそらくそのまま空中へぬきあげられとうのむかしに青袋におさまっていたじゃろう・・・
しかし竜魚はもちまえの巨体を利して ぎゃくにそいつを水中にひきずりこんでしまったにちがいねえ!!
ウウッ!!


な なるほど……
そんで そのひきずりこまれた鳥はほかのイワナに食われたりくさったりしてしまったが……
深々と つきささった 足の骨だけがぬけずそのまま ツノのようになって竜魚が誕生したというわけけえ!?

おそらくそうにちがいねえ
しかもそれ以来竜魚は鳥に対する復讐の念がつのり 鳥とみれば かたっぱしからおそうようになったとも 考えられる……
ウ～～～ム
な なんという ことだ
竜神滝の竜魚の正体は巨大なイワナであり……
ツノの正体は鳥の足の骨だったとは……

三平たちはそれからほどなく竜魚を 竜神滝の主として 滝壺へかえしたことはいうまでもない……

このドラマは　もちろんホクの創作ではあるが　じつはこんな話をきいたことがある　それは　海にでて魚をとってくらしている漁師たちの網に　ときどき竜魚のようにからだに鳥の骨をたてた魚がかかるというのである　古来より漁師たちのあいだではこうした魚を「御幣がたった魚」とよび 豊漁のきざしをしめすおめでたい魚として珍重するならわしがあるということである　作中にもちょっとふれたが　ミサゴとよばれる鳥は　海べや湖沼のまわりにすみ　水中の魚をみごとなダイビングでキャッチする習性をもっている　おそらく御幣の主は　こうしたミサゴのように魚をとらえて生活している鳥が　とらえそこなってぎゃくに水中にひきずりこまれた結果によることはまちがいない　北海道のある海岸には　畳一まいほどのオヒョウという魚の背に　オジロワシがしがみついたままどちらも死体となってうちあげられたという例もある　一見たいした苦労もなく平和にくらしているボクたちとおなじ世界で　生きるために生死をかけた戦いかくりかえされていることを思うとき　背すじがこおるような思いにかられるホクである（矢口）

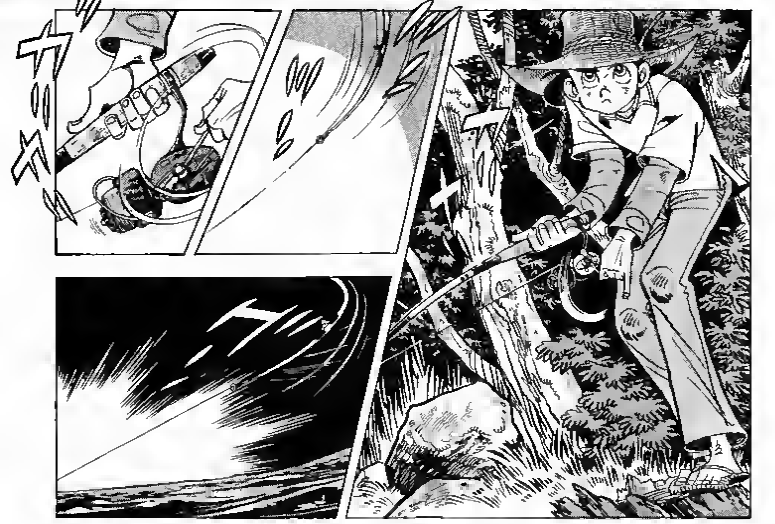
竜神滝の竜の巻　おわり

おらが
O山脈の奥に
よこたわる
秘境 摺り鉢池に
初挑戦したのは
初夏のこと
だった…

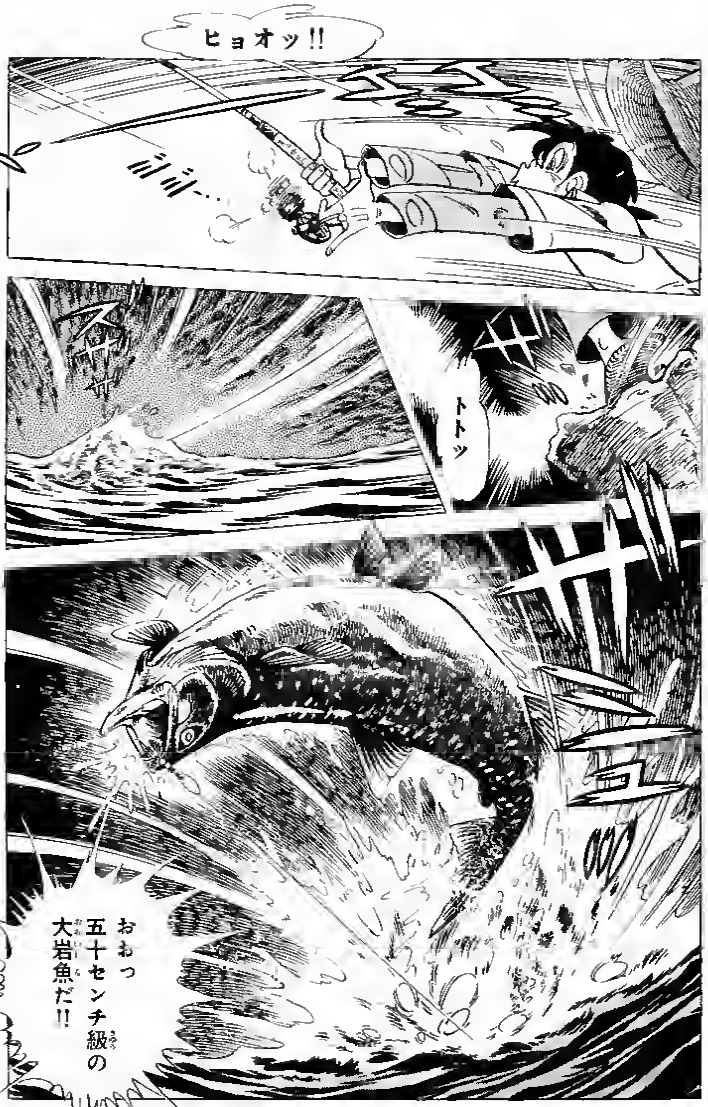
ガヤガヤ

摺り鉢池のカミソリウオの巻

前編

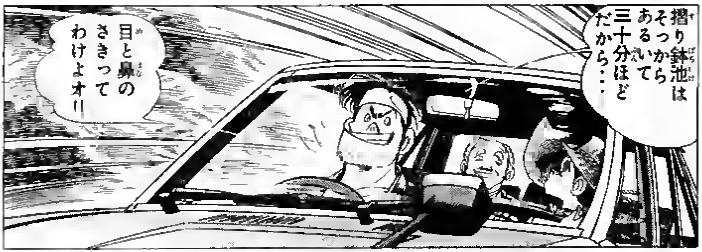


きたっ!!
やった!!
イッパツだあ!!


ヒョオッ!!
ミシ…
トトッ
おおっ
五十センチ級の
大岩魚だ!!

フェ～～～ッ
ど どうなってんだ
この摺り鉢池って
のは……!!
じいちゃんや
丈助さんの話は
半分ホラだと思って
きいていたが
まさに
大岩魚の
宝庫だ!!
ゴロロ～
最後の
秘境だ!!

この道路はとなりのY県にぬける国道で三年後には開通するらしい
途中トンネル工事をやってるが車でいけるのはそこまでだ


摺り鉢池はそっからあるいて三十分ほどだから…
目と鼻のさきってわけよオ!!

このごろはこうやって車でちかくまでいけるようになったが
なあ一平じいさんよオ!!
むかしあテクテクあるいて半日はたっぷりかかったもんだったなあ

ああ 野宿のしたくをしてでかけたもんじゃったなあ…
なにしろほとんど人けのねえ山中の秘境しゃから二尺クラスの太岩魚がウジャウジャ
えんけちゃんホントちゃいじい
ガハハハそのツラはあんまし信用してねえってツラだな
論より証拠釣ってみりゃあわかるって!
なんだあの音は……!?
トンネル工事のハッパの音だよ

カ〃カ〃カ〃カ〃
フェ〜〜〜ッ
すんげぇなや
山のどてっ腹さあんだ穴をあけて
科学の力っておっそろしいことをやらかすもんだなや師匠
カ〃カ〃カ〃カ〃

作業のじゃまにならないところにおいとくれよ
ハア ここなら
よろしくおねがいします
さあいくぞ!!
ホイキタ!!
ウンセー
コラセ!!

初夏とはいってもここまで奥にふみこむとあちこちに残雪がよこたわり……
たべごろのゼンマイや
コブシの花がいまをさかりのいわゆるおそい春といったところだった
チョロ
チョロ
ゴクゴク
うめえ
雪どけの岩清水は最高!!

ウオッ！
これが
掘り針池
……!!
スリバチ型だから
潮の中心さ
むかって急な
かけあがりに
なってるから
いたるところ
ポイントだらけ
ってわけさ!!
ウ〜〜〜ン
こいつぁ
いいぞ！
さっそく
アタック
開始だ!!
あいかわらず
はやいなや
師匠は

大昔に
山がスリバチ状に
陥没してできたから
摺り鉢池ちゅう名が
ついたといわれとる
……

ハハハ
正治くん
わしらは
沢目の落ちこみ
からねらって
みるぺ
三平くん
そんなに
気ばらんと
じっくり
やれ
摺り鉢池が
どういうとこ
かは 一一三度
うちこんで
みればわかる
それまでは
思い思いの
ポイントで釣る
ことにするぺ
上――し
昼めしは
いっしょに
食うとして

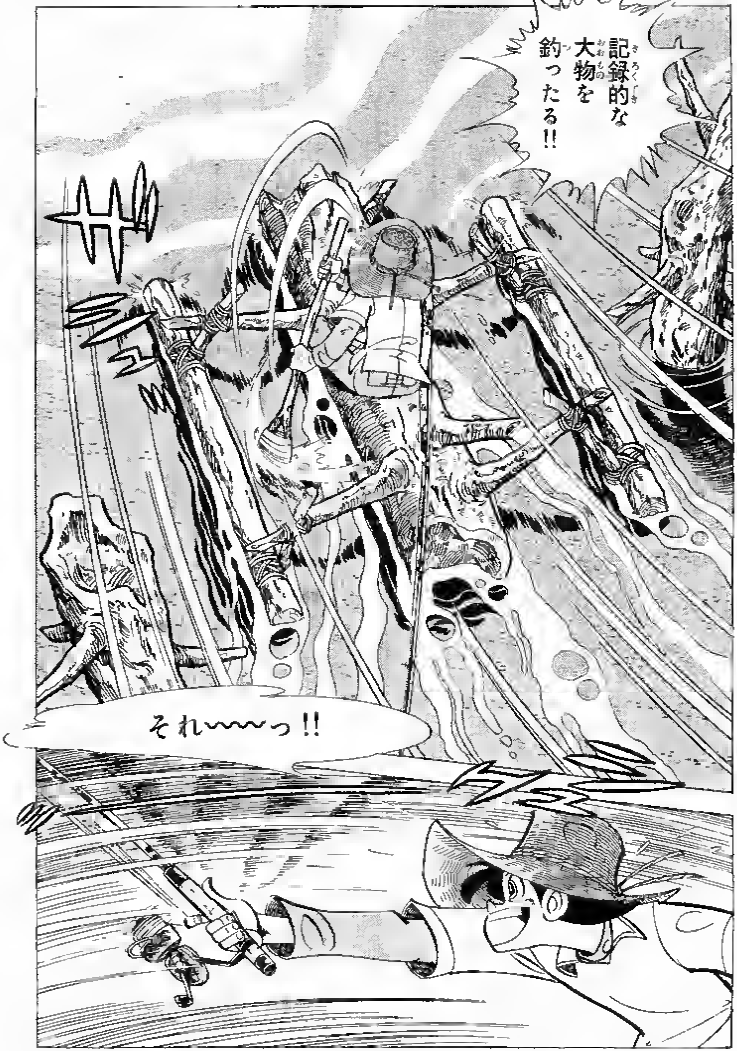
てなわけで
第一投となった
わけだが
いきなり
このありさま
……
ヒョッ!!

フエ〜〜ッ
五十センチは
完全に
こえてる
……!!
その後足場をかえて
いろいろなポイントに
さぐりをいれてみた
のだが……
ヒュン
ヒュン
二度のキャストで
たちまちヒット!!
ゴボッ

しかもそれが
ことごとく尺上を
うわまわるサイズと
あっては
どどうなってんだいこの掘り鉢池ちゅうとこは
釣れれば
釣れたでさらに
大物をねがうのが
釣りキチの心境っ
てやつだ
ボートが
あったら
なア・・・・
ボートがあったら
沖あいから
岸づたいを
せめられるし
トローリングも
ためせる・・・・

※フローター　丸太をささえる足

ン!?
なんだ ありゃあ……!?
カモの 死がいだ!!
それにしても どういうこった こりゃあ
首がまるで カマみてえな するどい刃物で きられたように キズついてる
どう したんだ
オソト こんだことで 時間をつぶしてる ヒマはねえ
カモのことは あとでじいちゃん たちをよんで しらべると しても
いまは とにかく 釣りだ


記録的な
大物を
釣ったる!!
それ〰〰っ!!

おらは
音気ごんで
いた!!
だから
カモの変死を
この時点では
さして心にとめて
いたわけでは
ないし
ましてや
この直後に
おそろしい事態が
まちうけていようなんて
ツメのアカほども考えて
いなかった
それにしても
この掘り鉢池は
すんごいポイ
ントだ
こんただ
手つかずのポイントが
いまの日本にある
なんて信じられねえ

またハッパか
あんただちかくさ国道がとおったらここもこのまんまじゃすまねえだろうな
いずれ釣り人がわんさかおしかけてあらしちまうんだろうな
てめえが釣ってこんただことをいうのもおかしな話だが
できることならだれにも知らせねえでそっとしておきたいポイントだ…
ケッへへこいつあかなりてめえかってないいぶんだなや
などとひとりごとをつぶやきながら三度目のキャストをしたときだった

あ――ん
なんだ
こりゃあ
まさか
根がかり
したんじゃ
あるめえな
おっかしい
なあ……
あっ!
きてる!
きてる!
こいつあ
てっけえぞ
〜〜〜っ!!

オ――ットトッ
記録的な大物にまちがいねえ!!
やったぜ!!
丸大カヌー作戦大成功!!
すごいラインがでていく一方だ

オッ!!
どうしたいきなりラインがたるみおった
おっかしいな
きれたりバレたりした感じじゃなかったぞ……!?
ン?
やつめUターンしたな……!?
こいつあおどろいたぜふつうならヒットしたらにげる一方なのに
Uターンとは常識外だ
めったに釣り人におめにかかってねえからファイトも変則的ってわけか
ウッ
どどうなってるだ
このようすだとまっしぐらにこっちさむかってきてる!!

お!!

わわっ!!
な なんだ
こりゃあ!!

ああ
なんだ
あいつは

うわ〜〜っ
またくるーっ!!
おわっ

ヒッ!!

あっ

じいちゃん!!
丈助さん!!
てえへんだ〜〜〜〜っ!!
なんだ
どうした!!
なにが
おこっただ!!
わからねえ
おらにも
なにがなんだか
さっぱり
わからねえ!!
まあ
おちついて
ムギ茶でも
のめ……
まさか
まっ昼間から
幽霊がでた
なんていうんじゃ
あるめえな

ナニ……!?
カミソリのようなヒレをした魚が……!?
アホな
んだ!!
大きさは八十センチくれえで
背ビレも胸ビレもみんなカミソリみてえにするどいんだ!?
そいつがおらさむかっておそいかかってきただ!!
おいおい三平くんじょうだんも休み休みいうもんだ
サメやピラニアなら話しはわかるがこんただ山ンなかの魚が人間をおそうなんて信じられるか!
ウソじゃねえって!
見れ この服のさけめと帽子を!!

空中さ
とびあがったと
思ったら
……
すれちがい
ざまに
スパッと
……!!
ウ～～～ン
これは……
ホントだ
ガハハハハ
たしかに
このさけぐあいは
するどい刃物で
きりさいたって
感じだが……
これが
魚のヒレに
きられたなんて
マンガだよ
マンガ!!

ホント
だってば!!
おらだって
信じられねえ
ぐらいだから
信じろっていう
ほうがムリかも
しれねえけど
二回も
とびかかって
きただ!!

胸ビレでラインを…?
カミソリウオじゃよそいつは
カミソリウオ……!?
大事にならんでよかったなぼうや…
またでたかあいつ

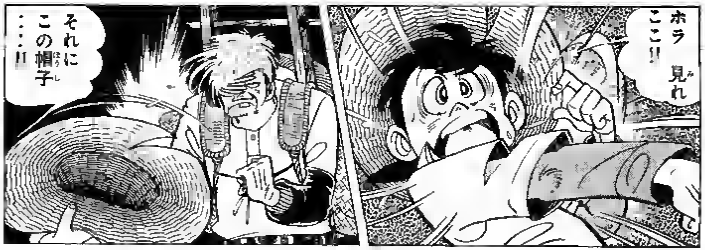
カミソリ
ウオ……

おじさん
おじさ――ん

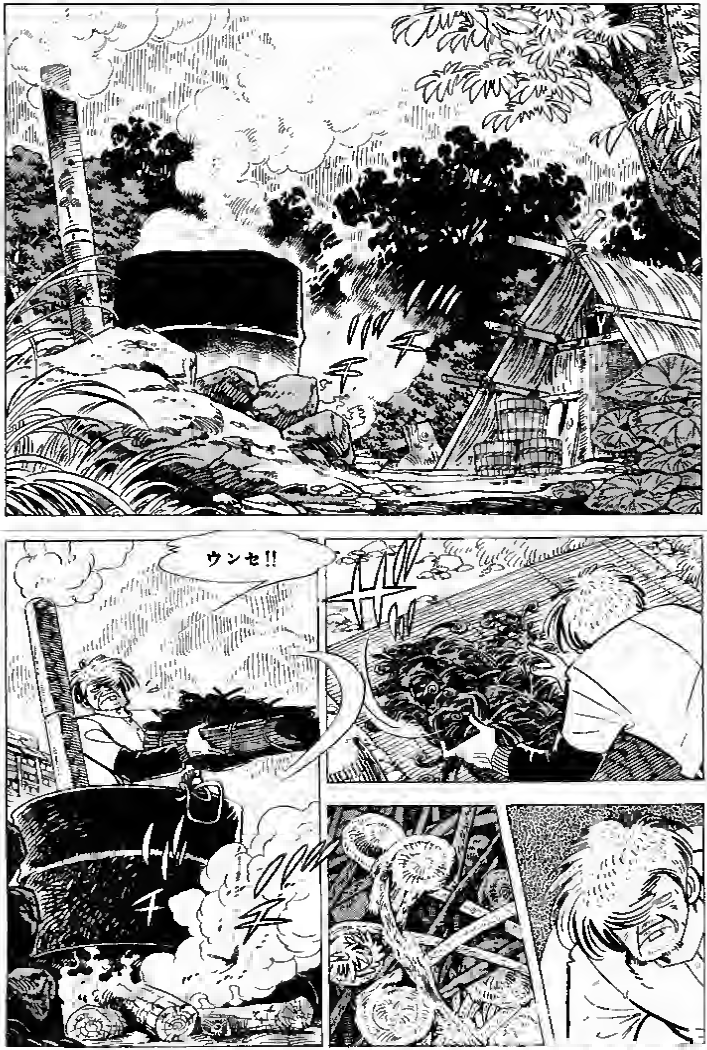
ちょっくら
まってけれ！
そのカミソリウオの話もっとくわしくきかせてけれ!!
ウオ

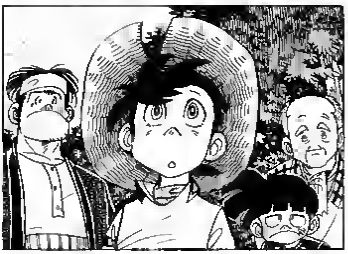
ちょっくら
きってけれ〰〰っ!!

つれの
れんじゅうは
だれも信じて
くれねえけど
おらあ
まちがいなく
そいつに
おそわれた
んだ!!


ホラ
見れ
ここ!!
それに
この帽子
・・・!!

摺り鉢池のカミソリウオの巻　中編


ウンセ!!



※一貫目（約三・七五キログラム）

山菜とりなんて気らくな商売にみえるかもしれんが
これてなかなか骨のおれる仕事なんしゃよ
オットゆであがったな
ぼうやわるいけどそこのザルをとってくれ
おら三平ちゅうだ
おうそうじゃったな
すまんすまん
こうやってゆでてほしてわれながら手のかかる商売だと思うぜガハハハ
ムムソ

嘉助さん!!
商売の話もいいけどカミソリウオの話も……
まあたち話もなんだ
そのへんの切り株さ腰でもかけろ
ギッヒヒそうじゃったな……
どうも年がら年じゅう山んなかでゼンマイとめっこしながらくらしてるとつい人恋しくなって

ドッコイショ!!
わしがカミソリウオのことをきいたのはもう十二 三年もまえのことしゃ
となりのY県に杵次ちゅう男がおってのう
やはりわしとおなじようにこの山でゼンマイとりを商売にしてる男しゃった

ところがこの男
どういうわけか
顔やからだにひでえ
傷跡のある男で
のう…
不思議に思って
わしはある日
その傷のいわれを
きいてみたんじゃ
杵次 気に
さわったら
かんべんして
くれ…
じつは
その…
なんだよ
はっきり
いってみろ
奥歯にものの
はさまったような
いい方しねえで
なんでえ
この傷の
ことけえ
こいつあ
カミソリウオに
やられたん
じゃよ
カミソリ
…!?
そいつあ
どこの組の
組…!?
あれ!?
○○組とかいう
ヤクザの組で
ケンカかなんか
あって…

あ〜〜〜ん!!
おめえ なにを かんちがい しとる
カミソリ ウオじゃよ 摺り鉢池の

知らな かったの けえ!?
あの 摺り鉢池にゃあ ヒレもシッポも まるでカミソリ みてえな魚が いて…
おらあ そいつに おそわれたん じゃよ!!

念のために いっとくが おしかったら 摺り鉢池にゃあ ちかよらん こっちゃ
ズタズタに きりさかれて しめえにゃあ骨に されちまうぜ
そ そんな バカな…

やつは 夏の暑いさかりに 摺り鉢池で 水あびしててておそわれたちゅうことだったが
そんな話 信じられるわけがあるめえ
その証拠にわしゃあためしになんとかおよいでみたんじゃがべつになんともなかった
ケッ な――にがカミソリウオでえ!!
そんなもんがいるんなら 銭をだしてもお目にかかりてえもんだぜ!!

それからしばらくはわしゃあカミソリウオのことなんぞすっかりわすれとった

そして ありゃあ六年まえの秋のことじゃった
その日 わしゃあキノコとりをしながら摺り鉢池さそそぐ沢のちかくをあるいていたんじゃ

ところが
沢の奥から
ぶきみなうなり
ごえが きこえて
くるじゃねえか
な なんだ
あのうなり
ごえは・・・
あんましすげえ
声なんでうすきみ
わるくなって
にげようと
思ったが
声の正体を
たしかめたい
気分もあって
おそるおそる
ちかよった

ウオッ!!
わしのからだは
一瞬金しばりに
あったみてえに
うごかなく
なった
そ
それは
ええっ
熊に魚が!?

ああ……

百貫にちかい大熊がだぜ……！
十ぴきあまりの魚にいれかわりたちかわり体あたりをかまされてオタオタしてるでねえか!!
十ぴきあまり……!?
おらをおそったのはたった一ぴきだったぞ!!
うんにゃ十ぴきは確実にいた
しかもすれちがいざまに魚のヒレにふれた熊の鼻っツラからはそのたびに鮮血がほとばしるんだ!!

これじゃあたまらんとみた熊は一目散に沢をくだりはじめた
だが魚は攻撃の手をゆるめなかった!!

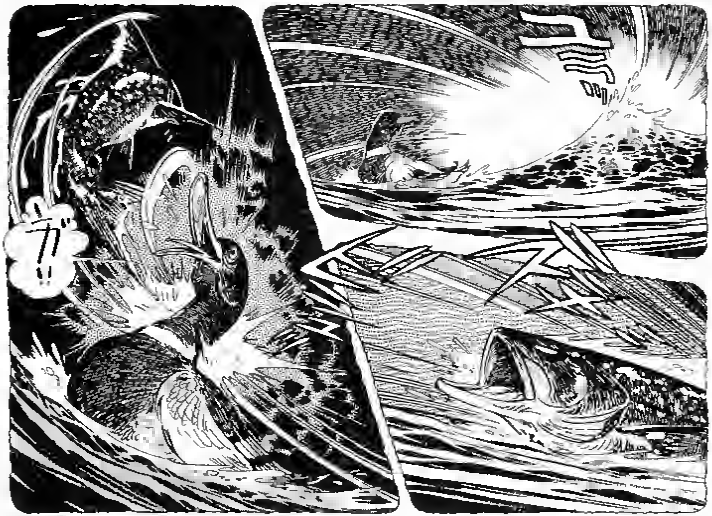
必死ににげる
熊とおとらぬ
スピードで
おいかけ
とうとう擂り鉢池に
おいおとして
しまったのじゃあ!!

さすがの熊もこれまでと思えた！
じゃが熊のからだは剛毛におおわれているため　やつらの攻撃は鼻の一点に集中しとった
それをみすかしたのか熊はたくみに鼻をかばいながら
ときにはするどく反撃した!!
こんなありさまが三十分あまりつづいたように思う……
遠目だったからどっちがどうなったかはわからん!!

やがて熊はほうほうのていで岸にはいあがったと思ったら
ドドド

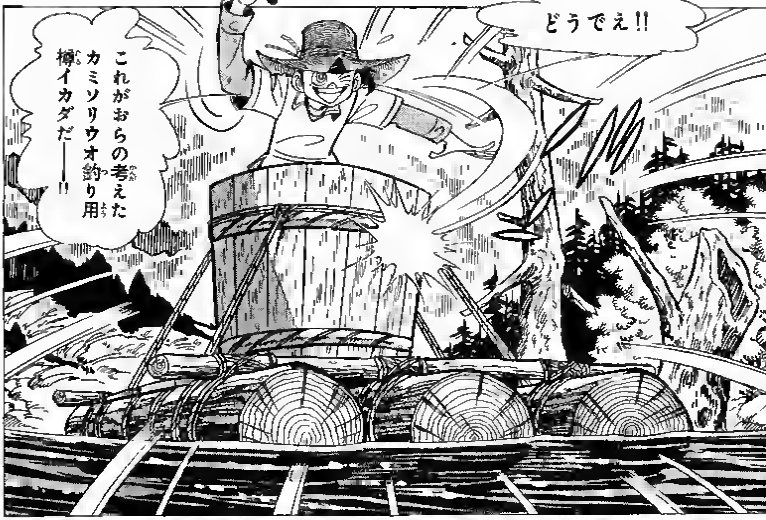
おそろしい
ありさま
じゃった
いまでも
目にうかぶ
……
ケッ
またハッパか
この山も
そうぞうしく
なったもんだ
……
ウッ
嘉助さん
ちょっくら
きてみて
けれ!!
どうしただ
いきなり
とにかく
きてけれ
見て
もらいてえ
もんがある!!

ホラッ
これ見て
けれっ!!
さっき
みつけたんだけど
池の岸さ
うかんでただ!!
おおっ
この首は
ま まちがいなく
カミソリウオに
やられたもんじゃ
おそらく
……


ガ!!

ウ〜〜ン
どうでえ じいちゃんも 丈助さんも これで信じて くれるべ
おらは カミソリウオに おそわれたんだ
しかし ホントにそんな 魚が……
かりにいるとして 正体はいってえ なにものなんだ
それをこれから しらべようって わけさ!!
なんだ とお!?
し 師匠!!
ま まさか 釣ろうってんじゃ ねえだろうな!!

釣ってみねえで正体を知ることはできめえ!!
三平くんそいつあよせ
わるいことはいわねえ相手は熊さえもおそう猛魚なんだぜ!!
そうはいかねえ!!
カミソリウオなんて得体のしれねえ怪魚を目の前にしてオメオメひっこんでいられるかい!!
し しかしことは命に
おらにいい考えがあるだ!!
なに櫂をかせだとお…!?
わしの小屋の山菜をつける あの櫂か!?


どうでえ!!
これがおらの考えた
カミソリウオ釣り用
棒イカダだ――!!

もし
カミソリウオが
おそいかかって
きたら
ホイッ

てな
わけさ!
これなら
だいじょうぶ
だべ!!

しかも
ラインの
さきは
二メートルの
ワイヤーだ
これならやつの
ヒレがなんぼするどく
たって きられる
心配は
まずあるめえ!!

ほんじゃあ
いっちょう
ぶちかまして
くるからな
丈助さん
もしうめえこと
ヒットして
おらが櫓んなかさ
もぐりこんだら
そのロープで
イカダを
ひきよせて
くれ
たのんだ
ぞ〜〜〜!!

丈助
こうなったらもはやわしらのでる幕じゃねえな
まったく
嘉助さんとにかくすわって見物するべ
ハア…
ハア…

しかしたまげたなや山菜漬け用の樽が三平くんにかかると
たちまち釣り道具になっちまうんだから
やっとわかったかいおらの師匠のえらさが
みてろってまもなくカミソリウオをひっさげてかえってくるぜ!!
ピー
ヒョロロ

ついたぞ!!
さっきおそわれたのはこのあたりだ
ようし!!
まずはさっきとおなじスピナーで
ン!?
ピヤッ
ああ

ああ
のみこま
れるう!!
にげろ
にげろ
カエルくん!!
おっ!
うめえこと
もぐり
こんだ!!
しかしカエルは
あんましながいこと
もぐっちゃ
いられねえから
やがては
ういてくる
クッソオ
にくったらしい
ヘビだな
ういてくるのを
舌(した)なめずり
しながら
まってやがる

ああっ
あんのじょう
ういてきた!!
そうだ!!
こいつで
ひっかけて
ヘビのやつを
おっぱらおう!!
ピヤッ
ウッ
どうしただ
カエルが
きゅうに
きえたぞ!!
ヘビのやつ
不思議がって
さがしてる
…

ンムッ!!

ああっ!!
カミソリウオだ!!
あのヘビは
カミソリウオに
きられたんだ!!
ちゅうことは
あのへんさ
カミソリウオが
いる!
しかも
さっきのカエルも
そいつに食われた
に ちがいねえ!!

チャンス!!
スピナーを
フロッグに
かえて
アタックだ!!
カエルを
ひとのみにする
くれえだから
こいつなら
きっと……
いくぞ
カミソリウオ!!

ヒュー
ガシャーン

摺り鉢池のカミソリウオの巻 後編

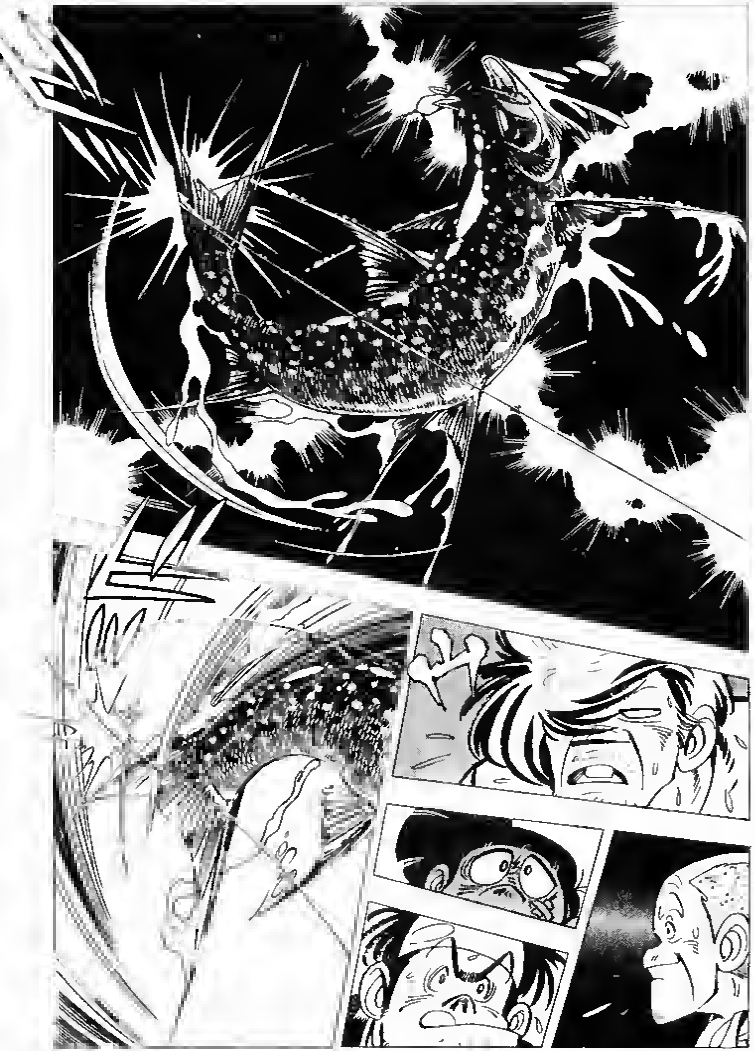
ウヒャッ!!
おおっ!!
師匠!!

やった〜〜〜っ!!
カミソリウオがきたぞ〜〜〜!!

フェ～～～ッ!!
フロック作戦(さくせん)がズバリ的中(てきちゅう)だ～～～っ!!

あ あれがカミソリウオ!!
すんごいヒレ…
ヒレもシッポもすべて凶器じゃ!!
それにしてもこのひろい掘り鉢地からイッパツでさぐりあてるとは…
あうっ!!

※ハリをはずそうとソノボでたちあかってファイトすること



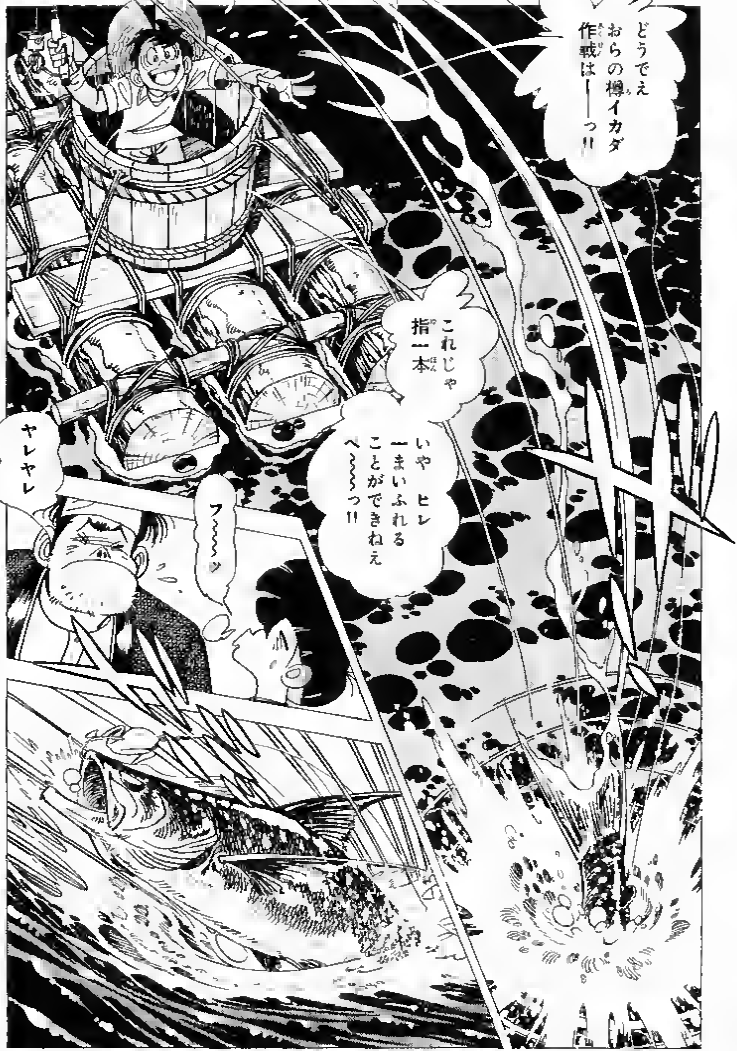
グハハ
どうでえ
きれねえ
べ!!
そいつあ
ワイヤー
なんだよオ
おめえのヒレが
なーんぼ
するどくたって
ワイヤーがきれる
わけねえべ
っ!!
ンムッ!!

ヒレで
イトをきろう
なんて魚は
はじめてだ
トヒョッ!!
おおそろしい

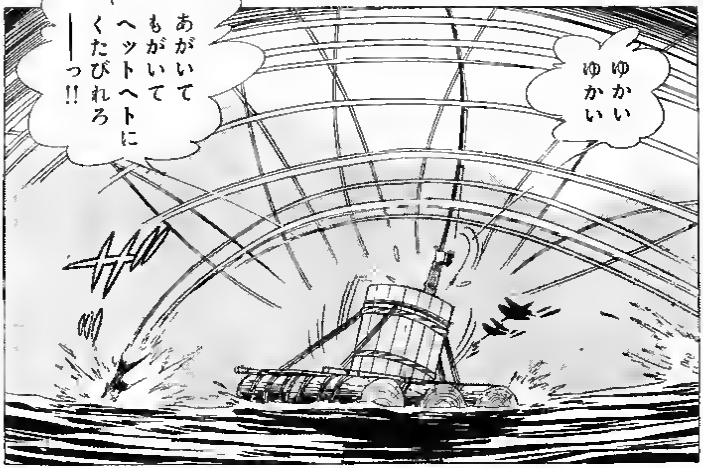
あがけ
もがけ
――っ!!
あがいて
もがいて
ヘットヘトに
くたびれ
ちまえ～～～っ!!
ピュー

そ――らおいでなすったな――っ!!
ラインがきれねえとみてこんどはおらをおそうつもりだべ――っ!!

師匠
ウオッ!!
ホイッ!!
その手は
先刻
承知のすけ!!


どうでえ
おらの傑作イカダ
作戦は――っ!!
これじゃ
指一本
いや ヒレ
一まいふれる
ことができねえ
へ～～～っ!!
ヤレヤレ
フ～～～

オットまたおいでなすったな——!!
な——んぼおそったってムダムダ
骨(ほね)おりぞんのくたびれもうけとはこのことだべ——っ!!


ゆかい
ゆかい
あがいて
もがいて
ヘットヘトに
くたびれろ
——っ!!

ガハハ
なーるほど
あれじゃあ
さすがの
カミソリウオも
指一本だせや
しねえって
わけか・・・

そうよ!
とどのつまりは
くたびれちまって
三平くんの勝ちっ
てわけさ

しかし いってえ
カミソリウオの
正体って
なんだべ

フフフ
あせるな
ここまで
くりゃあ
時間の問題
じゃで

ああっ
あ
あれは
!?

どうなってるだ
もうボチボチくたびれて攻撃の手がゆるむはずなのに
かえって攻撃の回数がふえてきた感じだぞ
うわっ!!

な なんだ こりゃあ……!?
お 大勢(おおぜい)の カミソリウオに とりかこまれて いるっ!!

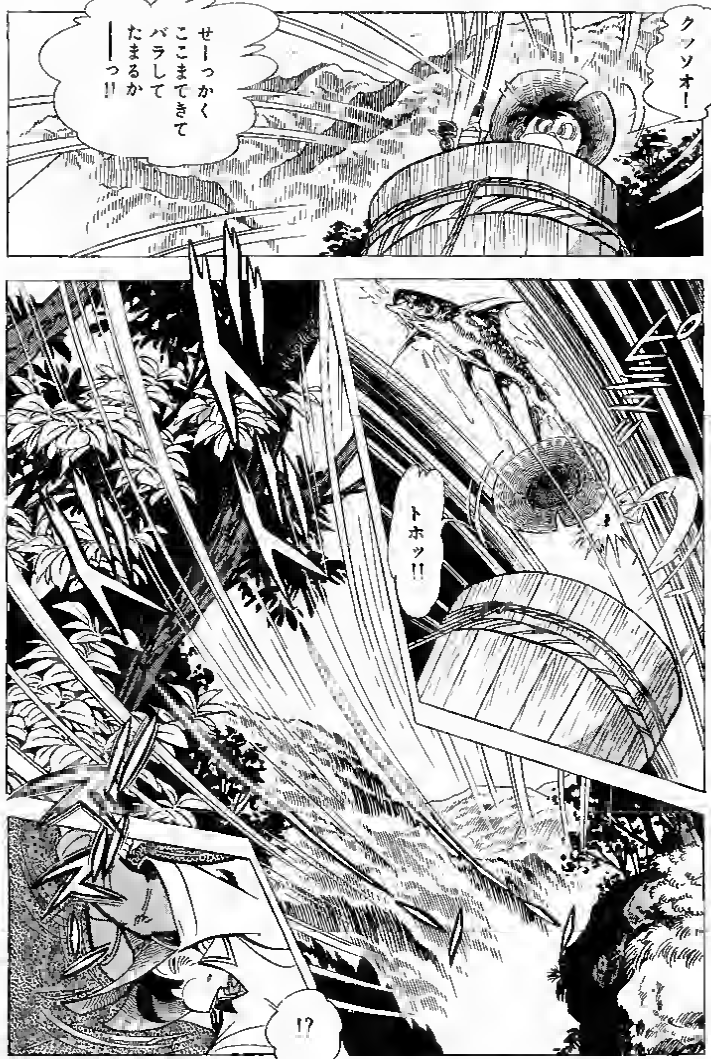
ああ
一ぴきかと
思ったら
こんなにたくさん
……!!
やつめ
かなわぬとみて
なかまをよんで
きたのか!!
グッ!!
こ これじゃあ
うっかり頭をだして
戦況を見るわけにゃあ
いかねえ!!

ヒロ
い いけねえ!!
こ こいつら
ミチイトを
攻撃してる
ミチイトは
ふつうのナイロン
だから
きれるおそれは
じゅうぶんある
こまった
どうする
どうする
そうだ!!

丈助さ――ん
ロープをひいて
くれ～～～っ!!
イカダを
岸さ ひいて
くれ～～～っ!!
そうだ
丈助いそげ!!
がってん!!

おめえたち
なにをボケッと
してる!!
枯木で
水面をたたいて
三平を援護
するんだ!!
そうだ!!
口をあけて
見てる場合じゃ
ねえ!!

ンギ〜〜ッ
三平くん
がんばれ
よ——っ!!
おう
丈助さん
その調子
だっ!!
たのむぞ
——っ!!


クソオ！
せーっかくここまできてバラしてたまるかーっ!!
トホッ!!
!?

ゴゴゴゴゴゴ
な なんだ この音は……
うわっ!!
水だ!!
うわ〜〜っ!!

ゴゴゴゴゴ
ピピ
ポン
ン!?
な なんだありゃあ……!?

ゴゴゴゴゴ
ウウッ
なんだこのウズは…!?
おかしいだ！
水がどんどんひいていくだ!!
いかん丈助はやくイカダをひきあげるんだ
ひょっとしたら湖のそこがぬけたのかもしれん
そ そんなバカな

いや 考えられん ことじゃ ねえ!
いまの トンネル工事の ハッパで湖の そこがぬけた のかも しれんぞ!!
とにかく 大至急 あげるべ!!
ウウッ こ これは
すんごい 力でイカダが 中央さひかれ てる……
な なんだ こりゃあ!!
どどどうなってるんだ~~~っ!!

まちがいねえ
そこがぬけたんだっ!!
ゴゴゴゴ
はやいとこひきあげねえと
三平くんがのみこまれちまうぞ——っ!!
スゴゴゴゴゴ
スゴゴゴゴゴ
スゴゴゴゴゴ

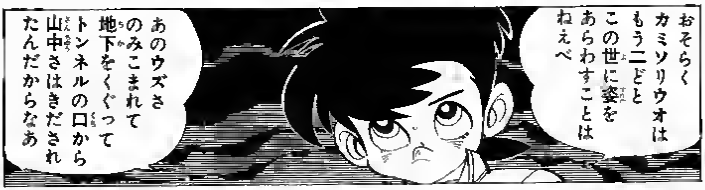
うわ〜〜〜っ!!

ウオッ!!
きられたっ!!

うわ～～～っ!!
ゴゴゴゴゴゴ
あうっ!!
ああっ!!

ああ……

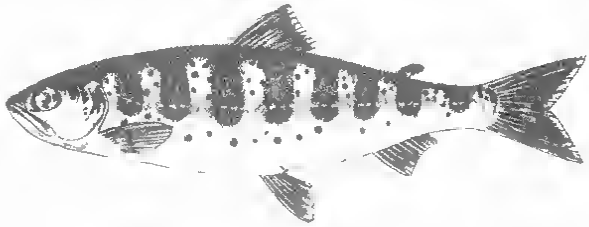
珍事修事
ダイナマイト湖の底をぬく
どえれえ惨事になったもんだなや
まったく……
そんでカミソリウオはみんなそのウズのなかさのみこまれちまったてわけ!?
んだ


おそらくカミソリウオはもう二どとこの世に姿をあらわすことはねえべ
あのウズさのみこまれて地下をくぐってトンネルの口から山中さはきだされたんだからなあ

ま――ったく世のなかなにがおこるかわかったもんでねえ!!
もうちょっとのことでフィニッシュできたのになア!!
バカコケ!のみこまれたのがおめえだったらいまごろどうなってただこもっとも
カミソリウオどころの話しじゃなかったべ

丈助　正治「イワナが変形した…!?」
三平「ほら　魚にかぎらず　動物でも植物でも　なが一いあいだには　自分のすむ環境に応じた形にかわってゆくべ」
正治「そんただことってあるのけえ」
一平「ある！　たとえば海のイシダイなんかは　外敵におそわれたとき　せまい岩のあいだにかくれやすいように　からだがひらべったくなってるし　ヒラメやカレイも砂のなかさもぐってエサをねらいやすいように　目が片側によってるべ　あれはそういうことじゃ」
三平「んだから　カミソリウオもきっと　熊なんかの外敵と対決したり　うめえことエサをとるために　ヒレがカミソリのようにするどくなっていったんじゃねえかと思うだ」
丈助　正治「へエ～～ッ　信じられねえなや」
一平「まあ　それもこれももはやナゾじゃ　なにしろかんじんのカミソリウオがきえちまったんじゃからなあ…」

摺り鉢池のカミソリウオの巻　おわり



あとがき

矢口高雄

「〝釣りキチ三平〟には、川や沼や湖での釣りは多いけど、海を舞台にしたドラマが少ないネ。」という意見をよくきく。

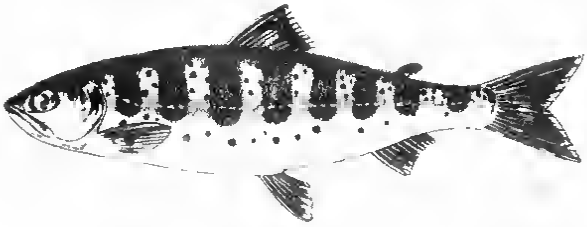
そのとおりである。理由はごくかんたん——ボクの生まれ育ちが山村だったため、海釣りの経験が非常に少なかったことにつきよう。しかし、もっと具体的にいえば（これは、多分にボクの偏見かもしれないが）、海にはドラマがないように思う。いや、海そのものにドラマがないというのではない。海にすむ魚に、人格をもったドラマを作ることができないといいかえたほうが適切かもしれない。つまり、海は広く、魚種も多いことはたしかであるが、それだけに〝主〟が存在しえない舞台だとボクは考える。

そこへいくと、たとえば古沼や、渓流の奥の滝つぼや淵、あるいは深い湖底には、おじいちゃんの代からすんでいたという、いわゆる〝主〟

が存在する例が少なくない。永い歳月のなかで、さまざまな事象を体験し、多くの動物や人間とかかわって生きつづけてきた〝主〟である。さまざまな体験やかかわりは、それ自体がドラマチックであり、魚ではあるが、すでに〝人格〟といえよう。少なくとも、古沼や滝つぼや渕、あるいは深い湖には、そうしたロマンにみちたドラマが、かぎりなくわいてくるということである。本書に収録した「竜神滝の竜」は、その典型的な一編で、ボクの好きな作品の一つである。

いつのころだったか、もうすっかりわすれてしまったが、たしか中学時代だったと思う。そのころ、時代劇映画のスターとして人気を二分していたのが、中村錦之助（現、萬屋錦之助）と東千代之介だった。秀麗な美剣士役で、ボクらは手に汗をにぎりながら二人のチャンバラシーンをみたものである。

その東千代之介の上演映画だった。タイトルはわすれてしまったが、鳴神渕とよばれる山奥の深い滝つぼが舞台であった。落差の大きい滝は数十メートルもの白柱となって落下し、白泡のわきかえる滝つぼはおそろしいほどに深くみえた。その滝つぼの右岸から左岸にかけて、一本の太い標縄がはられていた。標縄をはったのは、ライオンのたてがみのような白髪の行者であった。行者の名は、鳴神上人。この滝つぼに一匹の



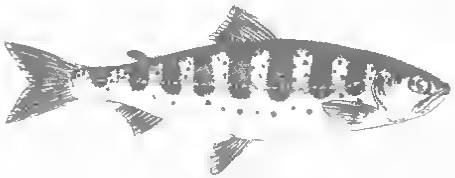
竜を封じこめ、標縄でしばりつけたというのである。

おりから村人は、一滴の雨もふらない日でりつづきに悩まされていた。作物は枯れ、田んぼはひびわれていた。鳴神上人が竜（竜神）を封じこめてしまったために雨がふらないというのである。

こまりはてた村人たちは、一計を案じた。酒好きな鳴神上人に酒をのませ、よっぱらって寝こんだスキに標縄を切って、竜を昇天させようとしたのである。この計画は、まんまと成功した。村人の献上した濁酒をむさぼるようにのんだ上人は、やがて大の字になって寝入ったのである。

チャンスとばかりにふりおろされた村人のナタが、標縄を切断した。振り子のようにおちていく標縄。と、滝つぼの波が轟音を発してさかまいた。同時に、にわかに天地がかき曇り、黒雲がモクモクとわきあがったと思うや、すごい形相の竜の頭が滝つぼのしぶきをかきわけて、ヌッとあらわれた。

腰をぬかしてみまもる村人。念仏をとなえる村人。竜はその村人をみすえたのち、ゆうゆうと黒雲のはてに昇天していった。大地をうるおす雨がふりだしたのは、竜のしっぽが黒雲にすいこまれると同時であった。雷鳴が轟き、しのつく雨の中で村人たちは手をとり、だきあって歓喜した。歌舞伎ファンならよくご存知の十八番「鳴神」のワンシーンである。



「竜神滝の竜」は、そんな少年の日にみた映画のワンシーンをモデルに作りあげたドラマであることは、もうおわかりいただけよう。

そういえば、ボクの作品には、よくこうした昔話や伝説や、迷信めいたエピソードを素材としたドラマが多い。だが、こうした、一見迷信や作り話と思われがちな昔話の裏に、じつに科学的な事象がかくされているように思う。

原稿用紙をまえに、あれやこれやと思いをめぐらし、脂汗をながしながらアイディアをねっていて、パッとひらめく。意外なところに意外なヒントがかくされているものである。とたんにボクの顔はニンマリ。さっきまでの脂汗はいつのまにか消え、スラスラと原稿用紙がうめつくされていく。そんなぐあいに、いつもいけばいいのだが……ハハハ。

（一九八五年一〇月一一日記す。）

あなたは、この本を読んで、どんな感想をおもちになりましたか。

編集部では、この本についての読者のみなさまのご意見をおまちしています。

このつぎには、どんな作家のどんな漫画を読みたいと、お考えですか。「KCスペシャル」にしてほしいと思う作品がありましたら、「読後の感想」とあわせて、左記あてに、どしどしお知らせください。

東京都文京区音羽二丁目十二番二十一号
〈郵便番号 一一二―〇一〉
「講談社コミックス」編集部
KCスペシャル係

KCスペシャル―164

釣りキチ三平―第八集

一九八五年十一月 五日 第一刷発行
一九九七年 五月 十日 第二十一刷発行

定価はカバーに表示してあります。

著者 矢口高雄
発行者 五十嵐隆夫
発行所 株式会社講談社
東京都文京区音羽二―二一―二一
郵便番号 一一二―〇一
電話 編集部(〇三)五三九五―二四五九
販売部(〇三)五三九五―三六〇八

講談社

印刷所 廣済堂印刷株式会社
製本所 誠和製本株式会社

©矢口高雄 一九八五年

落丁本・乱丁本は、小社雑誌業務部宛にお送りください。送料小社負担にてお取り替えします。
電話(〇三)五三九五―三六〇二
なお、この本についてのお問い合わせは、週刊少年マガジン編集部宛にお願いいたします。

本書の無断複写(コピー)は著作権法上での例外を除き禁じられています。

ISBN4-06-101164-2 (マ) Printed in Japan

KCSP
164

釣りキチ三平

第8集

謎の魚釣り編Ⅱ

矢口高雄

講談社

雑誌 45423-64
ISBN4-06-101164-2
C9979 ¥621E (3)

講談社

定価652円
本体621円

KCスペシャル
釣りキチ三平

1 アユ釣り編
2 フナ釣り編
3 イワナ釣り編
4 コイ釣り編
5 おもしろ釣り編
6 ヤマメ釣り編
7 謎の魚釣り編Ⅰ
8 謎の魚釣り編Ⅱ
9 イシダイ釣り編
10 コイ釣り編Ⅱ
11 ニジマス釣り編
12 ライギョ釣り編
13 イトウ釣り編Ⅰ
14 イトウ釣り編Ⅱ
15 イトウ釣り編Ⅲ
16 おもしろ釣り編Ⅱ
17 ムツゴロウ釣り編Ⅰ
18 ムツゴロウ釣り編Ⅱ
19 秘伝アユ漁編Ⅰ
20 秘伝アユ漁編Ⅱ
21 渓流釣り編
22 アカメ釣り編
23・24 フライフィッシング編Ⅰ・Ⅱ
25 怪魚釣り編
26・27・28 サーモン・ダービー編Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
29・30 マス釣り編Ⅰ・Ⅱ
31・32・33 ブルーマーリン編Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
34・35 キャスティング編Ⅰ・Ⅱ
36 ヘラブナ釣り編
37 アユ釣り編Ⅱ

大好評発売中!